

7. 水源地域動態

7.1 評価の進め方

7.1.1 評価方針

水源地域動態の評価は大きく2つの流れにより行う。

1つは、地域との関わりという点で、ダム建設から管理以降、現在までのダム事業を整理するとともに、地域情勢の変遷を整理し、地域においてダムがどのような役割を果たしてきたか、今後の位置づけはどのように考えていくべきかなどの評価を行う。

もう1つの流れとして、ダム及びダム周辺の利用状況から評価を行うものである。ダム周辺に整備された施設などが十分に利用されているものとなっているか、または逆に利用状況から見た施設は十分なものとなっているかなどの評価を行う。

最後にこれらをまとめ、ダム及びダム周辺の社会的な評価の総括を行い、課題等について検討する。

7.1.2 評価手順

評価方針に従い、大きく2つの流れにより評価を行いとりまとめることとする。

検討作業のフローは図 7.1.2-1 に示すとおりである。

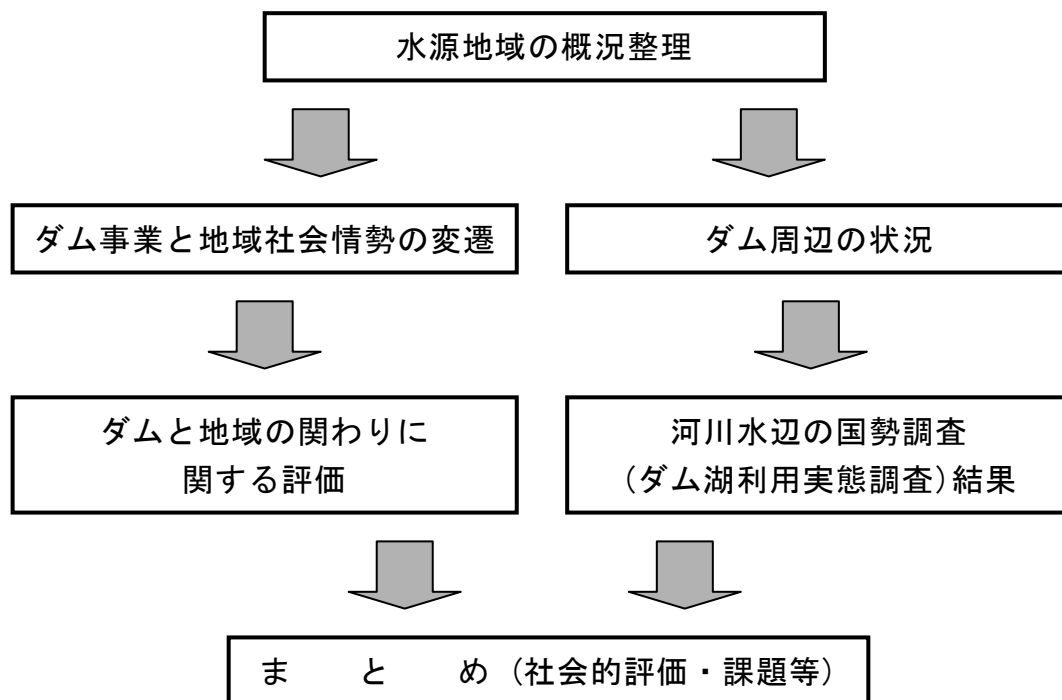


図 7.1.2-1 検討手順

(1) 水源地域の概況整理

水源地域の地勢や人口等の概要、交通条件や観光施設等のダムの立地特性等の視点から水源地域の概況を把握する。

(2) ダム事業と地域社会情勢の変遷

周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等についてダム事業の経緯とともに変遷を年表形式で整理し、ダム事業と地域社会の係わりを把握する。周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等は、ダムと関連がありそうな事項を抽出する。これらのまとめにより、ダムを含めた水源地域としての地域特性を把握する。

(3) ダムと地域の関わり

ダムと地域との関わりとして、(2)をもとに「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」等も参考にしながら、地域におけるダムの位置づけについて考察を行う。

さらにダム管理者と地域の関わりとして、至近5ヶ年程度のダム管理者と地域の交流事項等について整理し、管理者の活動等について評価する。

(4) ダム周辺の状況

ダム周辺施設の整備状況等について整理を行い、加えて、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」により新たに整備された施設等についても整理する。

また、施設入り込み数、イベント開催状況等から周辺の利用状況を整理し、利用に関する評価を行う。

(5) 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果

河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果より、ダム周辺施設の年間利用者数、利用形態等について整理する。

また、アンケート調査結果から、利用者がどのような感想をもっているかについても整理し、利用者の視点からのダム周辺施設の評価を行う。

(6) その他関連事項の整理

水源地域の社会動態に関する既往検討資料、または景観検討資料、施設の維持管理に関する検討資料等、関連する資料があれば整理する。

(7) まとめ

以上より、地域とダムの関わり、ダム及びダム周辺の利用状況に関する評価結果をまとめ、ダム及びダム周の特徴、課題等について整理する。また、負の評価結果となった事項があれば、これらについて要因を整理し、極力改善策等の提案についてとりまとめる。

7.2 水源地域の概況

7.2.1 水源地域の概要

(1) 地域の概要

室生ダムが位置する宇陀川は、三重県・奈良県を流域とする淀川水系木津川支川名張川の左支川である。

宇陀川流域は、「国宝宇太水分神社」、「女人高野の室生寺」をはじめとする名所・旧跡・文化財などの歴史的・景観的資源や自然資源に恵まれている。

室生ダム貯水池の周辺には、室生赤目青山国定公園や東海自然歩道があり、風光明媚な地域であり、行楽・観光に訪れる人々も多い。さらに、記紀(古事記・日本書紀)にも地名が登場するなど、古い歴史を刻んでおり、特に、旧榛原町及び旧大宇陀町は、大和と伊勢を結ぶ東西交通の要衝の地であったことから、伊勢参詣の宿場町として栄えてきた。

上流域沿川は古くから農地開発が進み、近年では大阪都市圏のベッドタウンとしての宅地開発も進んでいる。

(2) 室生ダム流域関連の自治体

室生ダム流域は、奈良県宇陀郡の旧大宇陀町、旧菟田野町、旧榛原町、旧室生村の3町1村からなっていたが、この3町1村が平成18年1月1日に合併、「宇陀市」となった。これに伴い、現在の室生ダムの水源地域は「宇陀市」1市となっている。

室生ダム流域関連自治体の面積及び室生ダム流域の面積を表7.2.1-1及び図7.2.1-1に示す。

表 7.2.1-1 室生ダム流域関連自治体の面積及び室生ダム流域面積

市町村名	面積 (km ²)	室生ダム流域面積 (km ²)		直接流域の 割合 (%)
		直接流域	間接流域	
旧大宇陀町	47.45	38.21	—	22.6
旧菟田野町	27.77	27.77	—	16.4
旧榛原町	64.41	61.57	—	36.4
旧室生村	107.99	8.45	—	5.0
旧室生村(間接)		—	33.00	19.5
3町1村合計 (現宇陀市)	247.62	169.00		—

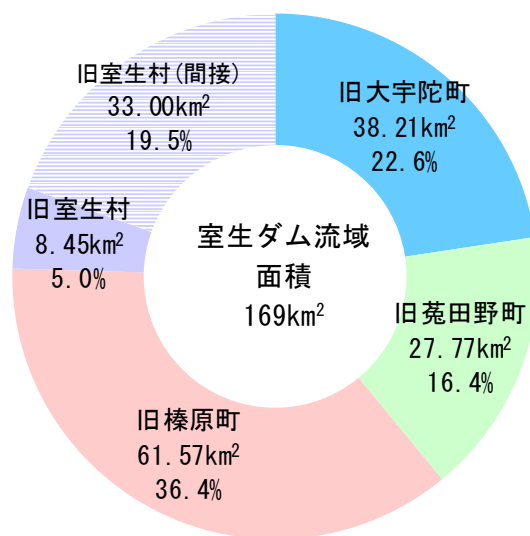


図 7.2.1-1 室生ダム流域関連自治体の面積比率

(3) 流域内の人口動態

① 流域自治体の人口と世帯数の推移

室生ダム流域内人口と世帯数の推移を表 7.2.1-2 及び図 7.2.1-2 に示す。

流域市町村の人口は、昭和 35 年から昭和 50 年にかけて減少していたが、昭和 55 年以降、平成 7 年は増加している。平成 7 年をピークにその後は減少に転じており、平成 22 年時点で約 34,000 人となっている。

平成 7 年までの人口が増加した要因は、旧榛原町内における宅地開発によるものであり、旧榛原町以外の町村は、昭和 35 年以降人口が減少し続けている。

世帯数で見ると、平成 12 年まで増加していたが、その後は減少に転じている。

表 7.2.1-2 室生ダム流域自治体の人口と世帯数の推移 (S35~H22)

室生ダム流域関係市町村の人口

(単位：人)

市町名	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
宇陀市人口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34,227
旧室生村人口	9,721	8,426	7,739	7,560	7,404	7,138	6,870	6,808	6,307	5,787	5,125
旧榛原町人口	12,934	12,707	12,950	12,846	17,209	18,511	19,359	20,231	19,438	18,548	17,491
旧菟田野町人口	7,330	6,392	6,344	6,033	5,849	5,684	5,476	5,284	4,915	4,624	4,250
旧大宇陀町人口	11,584	11,221	10,930	10,828	10,637	10,541	10,033	9,713	9,104	8,224	7,361
計	41,569	38,746	37,963	37,267	41,099	41,874	41,738	42,036	39,764	37,183	34,227

【出典：奈良県統計】

室生ダム流域関係市町村の世帯数

(単位：世帯)

市町名	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
宇陀市世帯数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,527
旧室生村世帯数	1,886	1,856	1,839	1,896	1,863	1,834	1,805	1,907	1,909	1,861	1,754
旧榛原町世帯数	2,666	2,835	3,027	3,022	4,327	4,706	5,083	5,669	5,784	5,875	5,934
旧菟田野町世帯数	1,445	1,451	1,482	1,494	1,465	1,426	1,432	1,418	1,395	1,392	1,363
旧大宇陀町世帯数	2,461	2,459	2,520	2,640	2,591	2,602	2,556	2,566	2,601	2,548	2,460
計	8,458	8,601	8,868	9,052	10,246	10,568	10,876	11,560	11,689	11,676	11,511

【出典：奈良県統計】

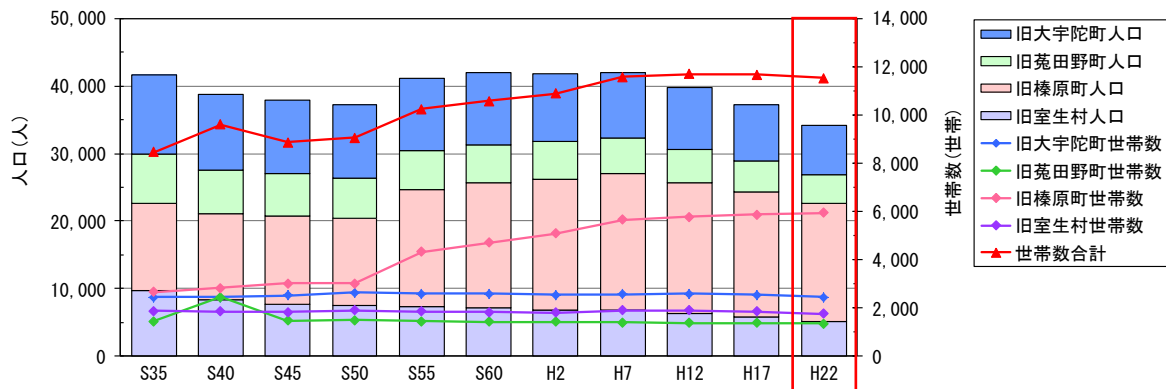


図 7.2.1-2 室生ダム流域内人口と世帯数の推移 (S35~H22)

(4) 産業別就業者数

室生ダム流域市町村における産業別就業者数の割合と就業者数の推移を表 7.2.1-3、図 7.2.1-3 及び図 7.2.1-4 に示す。就業者数は昭和 40 年以降、平成 12 年までは 19,000 人程度で横ばいであったが、平成 12 年以降は減少している。

産業別でみると、第一次産業及び第二次産業の就業者数が減少したことにより、第三次産業の割合が増加しており、平成 22 年では約 70%を占めている。

表 7.2.1-3 室生ダム流域関連自治体の就業者数推移 (S40~H22)

市町村名	年	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
宇陀市*	第一次産業	7,935	7,018	4,839	3,793	3,230	2,382	2,137	1,776	1,732	1,086
	第二次産業	4,246	5,348	5,230	5,685	5,803	5,969	5,854	5,271	4,248	3,376
	第三次産業	6,575	7,409	7,945	9,821	10,226	10,746	11,697	11,231	11,038	9,923
	計	18,756	19,775	18,014	19,299	19,259	19,097	19,688	18,278	17,018	14,385
旧大字陀町	第一次産業	2,292	1,970	1,478	1,149	928	699	623	526	540	—
	第二次産業	1,198	1,599	1,448	1,542	1,551	1,604	1,553	1,395	1,070	—
	第三次産業	1,798	1,998	2,213	2,377	2,351	2,445	2,408	2,272	2,243	—
	計	5,288	5,567	5,139	5,068	4,830	4,748	4,584	4,193	3,853	—
旧菟田野町	第一次産業	1,183	1,019	671	510	447	343	301	233	232	—
	第二次産業	815	1,120	1,054	1,067	1,046	1,053	925	815	611	—
	第三次産業	969	1,134	1,287	1,330	1,274	1,258	1,205	1,205	1,259	—
	計	2,967	3,273	3,012	2,907	2,767	2,654	2,431	2,253	2,102	—
旧榛原町	第一次産業	2,275	2,062	1,300	1,177	1,046	773	681	671	591	—
	第二次産業	1,468	1,727	1,733	2,173	2,279	2,433	2,500	2,247	1,865	—
	第三次産業	2,458	2,843	2,835	4,256	4,782	5,269	6,195	6,056	5,985	—
	計	6,201	6,632	5,868	7,606	8,107	8,475	9,376	8,974	8,441	—
旧室生村	第一次産業	2,185	1,967	1,390	957	809	567	532	346	369	—
	第二次産業	765	902	995	903	927	879	876	814	702	—
	第三次産業	1,350	1,434	1,610	1,858	1,819	1,774	1,889	1,698	1,551	—
	計	4,300	4,303	3,995	3,718	3,555	3,220	3,297	2,858	2,622	—

※1 宇陀市の昭和40年から平成17年は、旧3町1村の合計

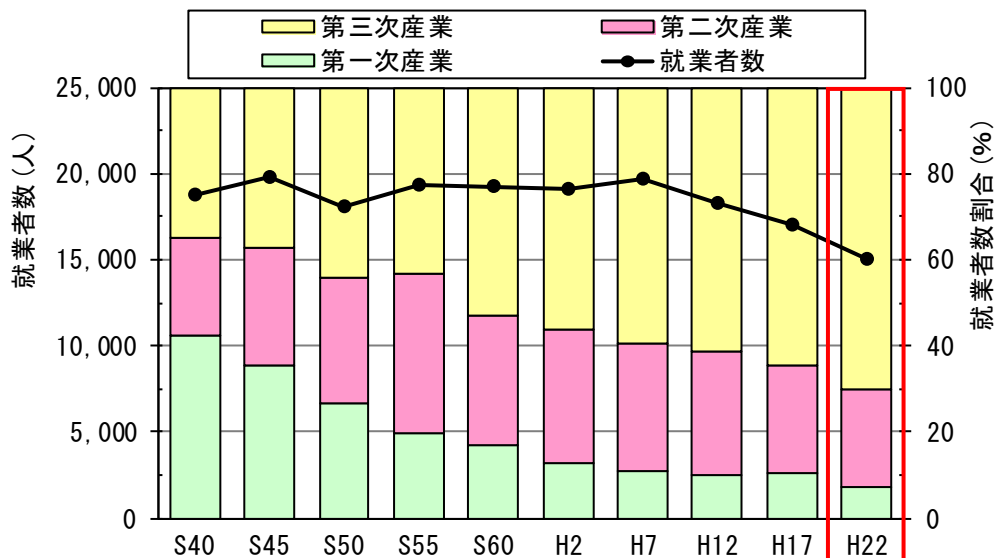


図 7.2.1-3 室生ダム流域関連自治体の就業者数の推移 (S40~H22)

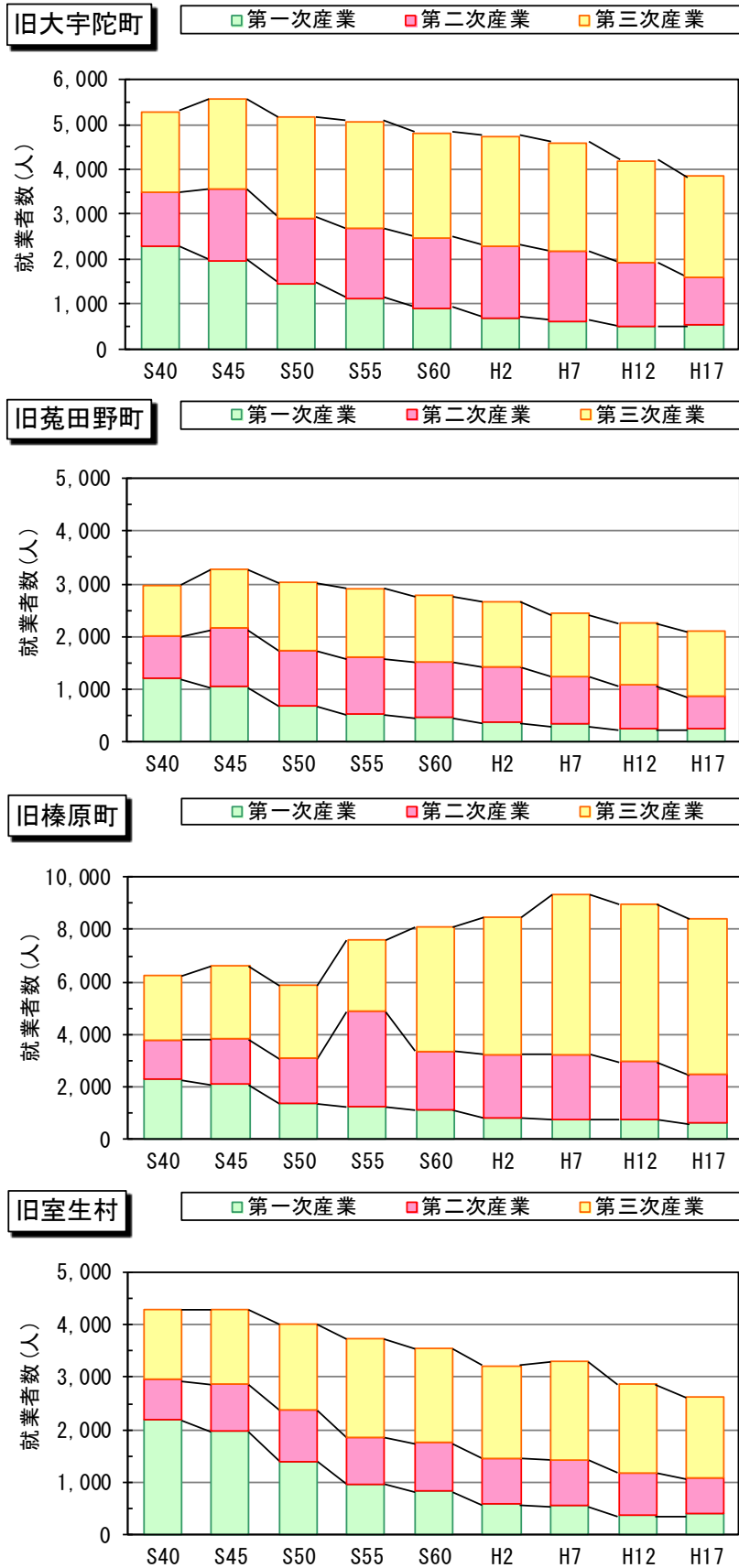


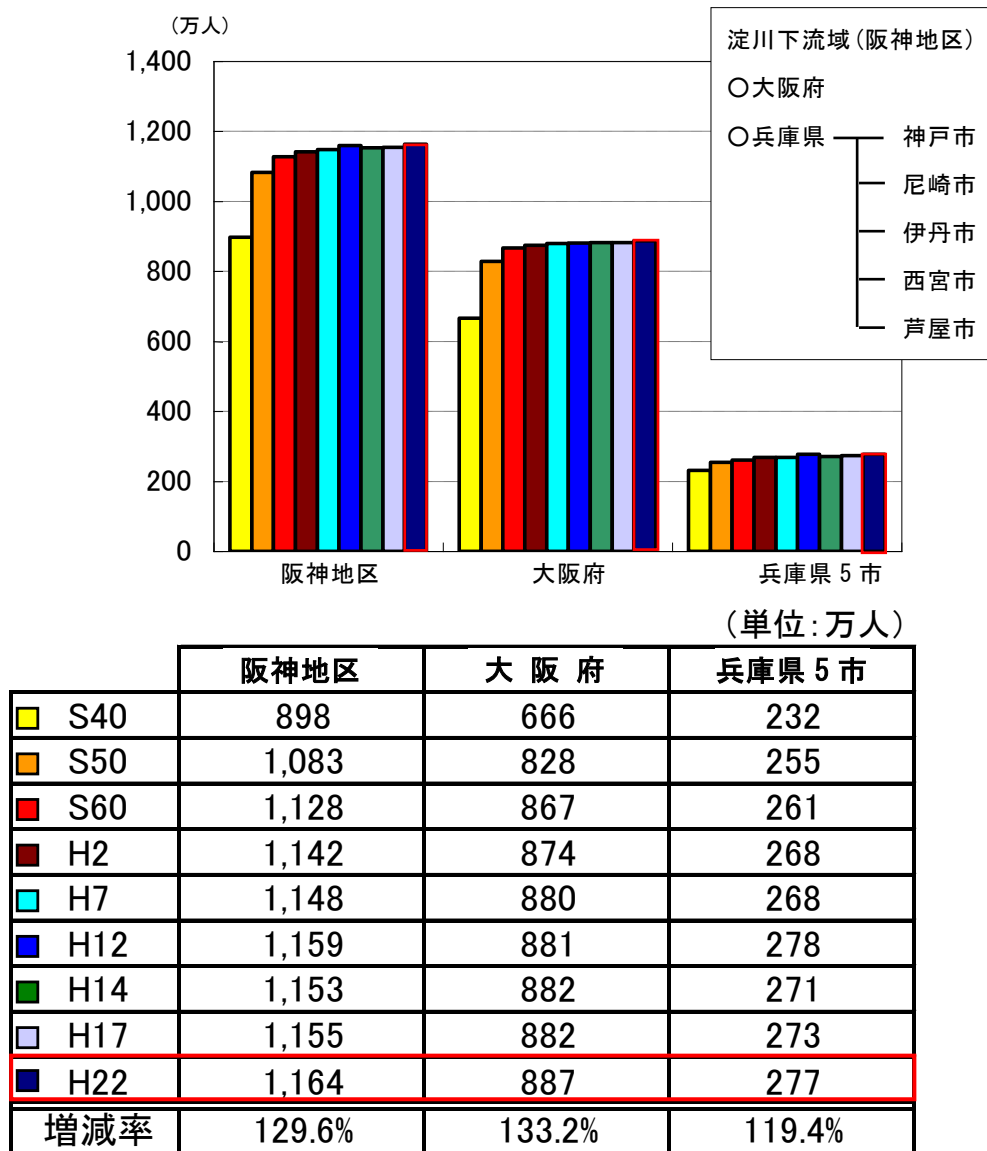
図 7.2.1-4 室生ダム流域関連の各自治体の就業者数の推移(旧町村別：S40～H17)

注) 平成22年については、旧町村の資料は整理されていない。

(5) 淀川下流域の人口の推移

淀川下流域の人口は、図 7.2.1-5 に示すとおり、昭和 40 年から昭和 50 年までの 10 年間で約 185 万人の増加があり、平成 2 年以降はほぼ横ばいの状態となっている。

淀川下流域の平成 22 年時点の人口は、1,164 万人となっており、昭和 40 年と比較して、129.6%の増減率となっている。



【出典：国勢調査
 ※増減率は、昭和 40 年に対する平成 22 年の変動率を示す】。

図 7.2.1-5 淀川下流域の人口の推移

(6) 土地利用

流域市町村(流域外を含む)の土地利用状況の経年変化を表 7.2.1-4、図 7.2.1-6 に示す。平成 25 年時点で、流域市町村面積の約 70%が山林、田畑約 20%、宅地約 4%となっている。

表 7.2.1-4 流域市町村(流域外を含む)の土地利用状況の経年変化 単位: ha

年度	市町村別	合計	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	雑種地		
										ゴルフ場	鉄軌道用地	その他
S40	3市1町計	11,636.1	2,152.5	948.1	234.8	-	8,119.8	139.0	41.9	-	28.5	13.4
	大宇陀町	2,576.4	675.0	324.8	73.7	-	1,477.8	23.5	1.6	-	-	1.6
	菟田野町	1,591.6	309.2	156.1	34.5	-	1,062.7	17.3	11.8	-	-	11.8
	榛原町	3,347.2	694.5	252.1	75.1	-	2,266.2	47.8	11.5	-	11.5	-
	室生村	4,120.9	473.8	215.1	51.5	-	3,313.1	50.4	17.0	-	17.0	-
S45	3市1町計	12,987.8	2,219.0	1,011.6	278.9	1.1	9,272.0	159.0	46.2	-	30.1	16.1
	大宇陀町	2,806.0	686.3	341.8	82.8	-	1,666.7	26.5	1.9	-	-	1.9
	菟田野町	1,750.0	311.7	161.9	44.1	1.1	1,198.7	18.7	13.8	-	-	13.8
	榛原町	3,851.7	717.3	279.0	91.4	-	2,690.2	60.3	13.5	-	13.1	0.4
	室生村	4,580.1	503.7	228.9	60.6	-	3,716.4	53.5	17.0	-	17.0	-
S50	3市1町計	12,246.1	1,929.0	848.3	318.9	43.9	8,796.9	135.6	173.7	93.3	30.7	49.6
	大宇陀町	2,593.7	631.5	298.1	86.0	-	1,551.6	24.3	2.3	-	-	2.3
	菟田野町	1,573.6	247.6	126.1	45.4	-	1,129.0	21.2	4.4	-	-	4.4
	榛原町	3,510.5	565.7	221.3	126.4	43.9	2,448.7	47.6	56.9	-	14.0	42.9
	室生村	4,568.3	484.2	220.8	61.1	-	3,667.6	42.5	110.1	93.3	16.7	-
S55	3市1町計	13,451.7	2,085.8	933.7	396.2	47.0	9,598.1	139.3	251.8	168.1	32.0	51.7
	大宇陀町	2,798.8	653.6	309.8	99.5	1.3	1,679.6	26.2	28.9	17.3	-	11.6
	菟田野町	1,801.8	293.7	149.9	58.9	1.1	1,270.5	17.4	10.3	-	-	10.3
	榛原町	3,753.8	630.3	252.8	165.3	44.6	2,552.5	54.2	54.1	10.5	15.3	28.3
	室生村	5,097.3	508.2	221.2	72.5	-	4,095.5	41.5	158.5	140.3	16.7	1.5
S60	3市1町計	13,398.2	2,027.1	899.9	409.2	47.1	9,593.7	148.6	272.6	165.5	32.0	75.1
	大宇陀町	2,808.4	649.4	308.8	103.4	1.6	1,687.3	24.8	33.1	17.8	-	15.3
	菟田野町	1,784.9	286.2	146.6	60.6	-	1,265.7	16.1	9.6	-	-	9.6
	榛原町	3,710.1	595.2	228.3	170.4	45.2	2,559.8	50.6	60.8	10.5	15.3	35.0
	室生村	5,094.8	496.3	216.2	74.8	0.3	4,080.9	57.1	169.1	137.2	16.7	15.2
H2	3市1町計	13,332.4	1,965.2	902.0	438.7	47.8	9,564.1	154.5	260.1	166.0	32.0	62.0
	大宇陀町	2,803.2	640.6	304.6	109.0	1.6	1,685.9	26.9	34.6	17.8	-	16.8
	菟田野町	1,750.6	268.7	154.0	63.5	-	1,236.8	17.7	9.9	-	-	9.9
	榛原町	3,700.9	574.7	232.1	188.7	45.9	2,554.5	52.5	52.5	11.0	15.2	26.2
	室生村	5,077.7	481.2	211.3	77.5	0.3	4,086.9	57.4	163.1	137.2	16.8	9.1
H7	3市1町計	13,245.3	1,906.2	893.1	465.5	48.9	9,488.9	163.8	278.9	166.0	30.5	82.4
	大宇陀町	2,822.7	629.9	316.5	114.6	1.6	1,690.4	32.5	37.2	18.1	-	19.1
	菟田野町	1,754.1	262.6	153.2	66.3	-	1,240.4	20.1	11.5	-	-	11.5
	榛原町	3,627.9	549.3	216.2	199.5	47.1	2,500.4	53.2	62.2	11.0	14.6	36.6
	室生村	5,040.6	464.4	207.2	85.1	0.2	4,057.7	58.0	168.0	136.9	15.9	15.2
H12	3市1町計	13,216.8	1,828.3	913.6	481.3	49.0	9,409.4	187.3	348.2	213.2	30.4	104.4
	大宇陀町	2,818.3	601.6	322.7	116.8	1.5	1,644.2	40.6	91.1	63.9	-	27.1
	菟田野町	1,722.3	247.9	155.2	68.5	-	1,210.3	25.8	14.7	-	-	14.7
	榛原町	3,634.3	522.1	227.7	207.8	47.3	2,497.6	59.3	72.6	12.0	14.5	46.1
	室生村	5,041.9	456.7	208.0	88.2	0.2	4,057.3	61.6	169.8	137.3	15.9	16.5
H17	3市1町計	13,170.3	1,769.6	921.6	494.8	49.0	9,371.8	208.4	355.1	210.8	29.9	114.4
	大宇陀町	2,817.8	590.8	325.4	118.2	1.5	1,645.0	46.5	90.5	61.3	-	29.2
	菟田野町	1,701.6	236.8	151.9	68.9	-	1,201.3	27.2	15.5	-	-	15.5
	榛原町	3,656.9	503.4	232.3	218.3	47.3	2,510.2	68.3	77.1	12.2	14.2	50.7
	室生村	4,994.0	438.6	212.0	89.4	0.2	4,015.3	66.4	172.0	137.3	15.7	19.0
H20	宇陀市	13,191.5	1,758.4	912.7	500.1	49.0	9,392.2	218.9	360.2	210.7	29.8	119.6
H21	宇陀市	13,189.2	1,755.3	911.3	501.4	49.2	9,388.3	219.5	364.3	210.7	29.8	123.7
H22	宇陀市	13,207.4	1,747.1	908.0	503.8	49.1	9,409.4	221.1	367.9	210.7	29.8	127.4
H23	宇陀市	13,221.5	1,744.6	906.7	506.5	49.1	9,418.9	224.9	370.8	210.7	29.7	130.3
H24	宇陀市	13,229.5	1,742.3	904.6	508.9	49.0	9,416.6	227.5	380.6	210.7	29.8	140.1
H25	宇陀市	13,231.8	1,739.2	903.6	509.2	49.0	9,418.3	228.9	383.5	210.7	29.5	143.3

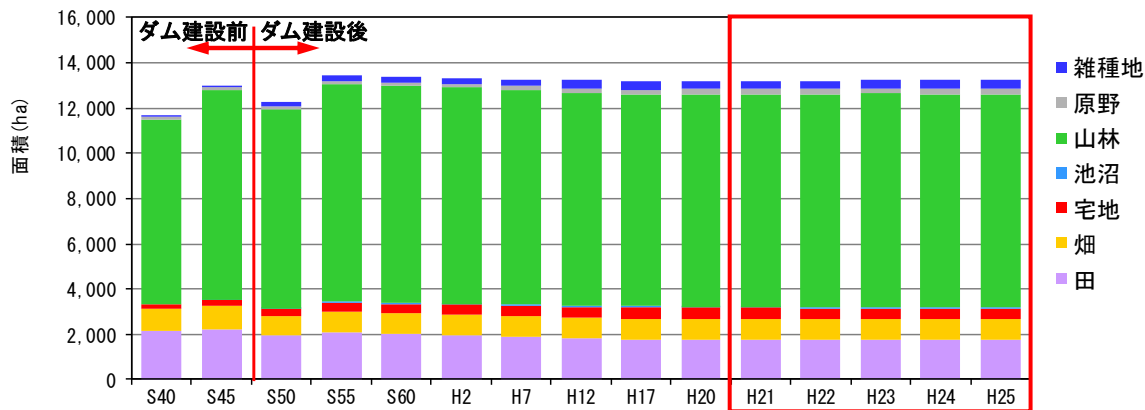


図 7. 2. 1-6 流域市町村(流域外を含む)の土地利用状況の経年変化

次に、室生ダム周辺の土地利用を図 7.2.1-7 に示す。

室生ダム流域内(間接流域を含む)の土地の利用割合は、森林81%、田10%、建物用地4%、河川及び湖沼1%である。

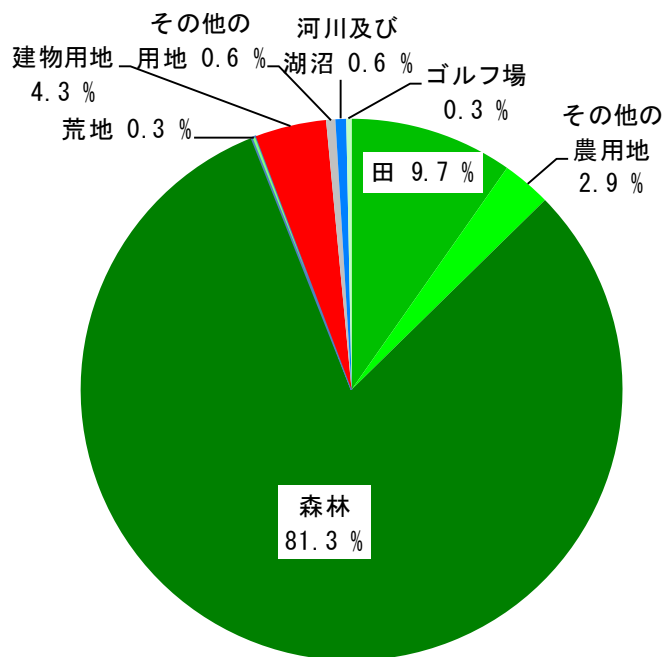
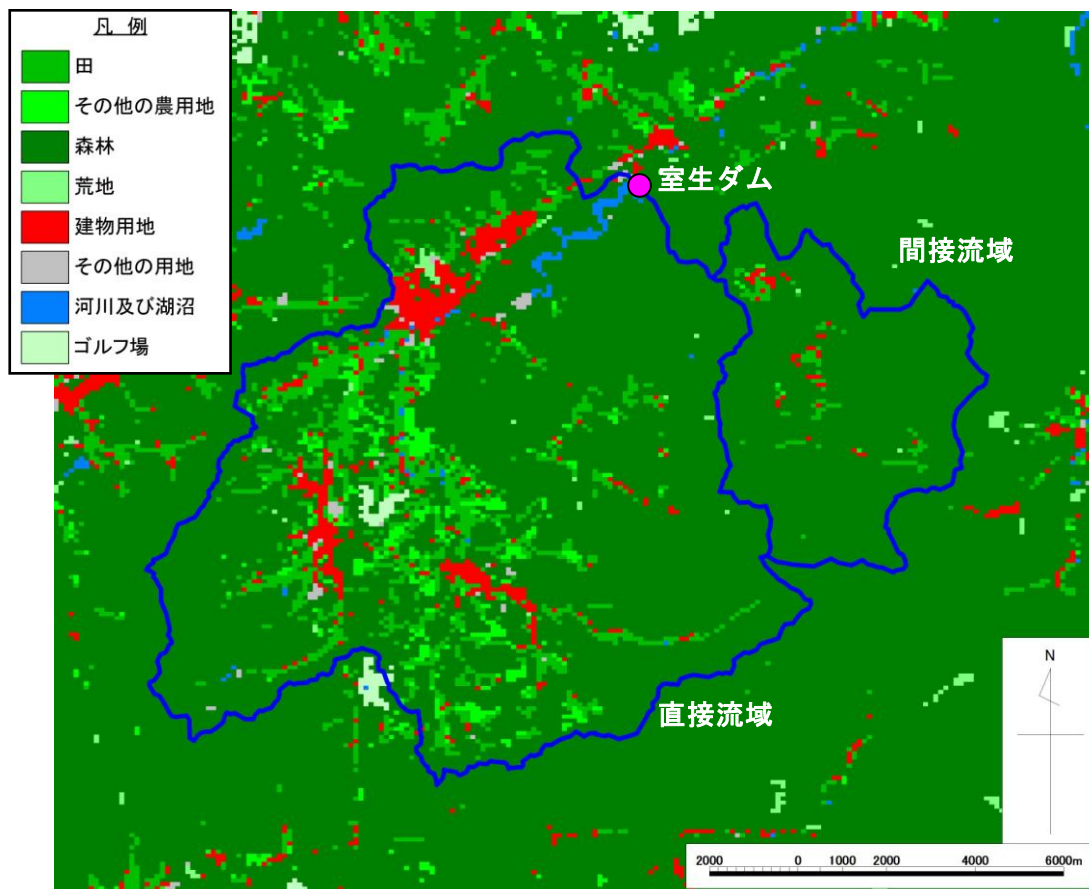


図 7.2.1-7 室生ダム周辺の土地利用

【出典：「土地利用細分メッシュデータ」国土数値情報 平成21年】

7.2.2 ダムの立地特性

(1) ダムへのアクセス

室生ダムは大阪から東へ約 47km に位置している。

ダムのすぐ近くを国道 165 号、近鉄大阪線が通り、大阪や奈良等の都市圏からのアクセスが非常に良いという特徴を持つ。さらに、名阪国道小倉 IC から国道 165 号を経て室生寺周辺までつないでいる奥宇陀広域農道(やまなみロード)によりアクセスが良くなった。

自動車では大阪都心部から約 70 分(西名阪自動車道を利用)、電車では約 1 時間(近鉄大阪線(急行))を利用して室生口大野駅でアクセスできる。

また、室生ダムは室生口大野駅から約 1.7km と近く、利用しやすい立地環境にある。



図 7.2.2-1 室生ダム周辺の交通アクセス

(2) ダム周辺の観光施設等

室生ダム周辺の観光施設等を表 7.2.2-1、図 7.2.2-2 に示す。

代表的な観光資源としては、室生寺、大野寺磨崖仏、滝谷花しょうぶ園などがある。

表 7.2.2-1 室生ダム周辺の観光施設等(その1)

施設名称	概要	所在地
室生寺	奈良時代末に創建。創始期の姿が見られる唯一の山地寺院として、天平の息吹を伝える堂宇が散在し、国宝の釈迦如来立像・十一面観音像・釈迦如来坐像をはじめ、仏像や寺宝はどれも超一級の文化財である。 国宝五重塔は、弘法大師が一夜にして建立したと伝承される。石楠花に代表される花の寺としても知られている。 女人禁制の高野山に対し、女性の参詣を認めたため「女人高野」と呼ばれている。	宇陀市 室生
大野寺磨崖仏	本堂の弥勒菩薩立像の脇に立つ重要文化財の木造地藏菩薩立像は「身代わり地藏」と呼ばれる。対岸の岸壁に刻まれている総高 13.8m 日本最大級の弥勒磨崖仏は、鎌倉時代に後鳥羽上皇の勅願で造立されたもので、史実がはっきりしており、史跡に指定されている。	宇陀市 室生
宇太水分神社 ^{みくまり}	緑濃い木立の中に速秋津比古神、天水分神、国水分神の水分三座が祀られている。本殿(三社造)は国宝。社伝では崇神天皇の時代にはじまるといわれ、縁起では、大和国宇陀郡の水分大明神は天照大神の分神で、垂仁天皇の時代に神託によって社殿をかまえたと伝えている。	宇陀市 菟田野
滝谷 花しょうぶ園	約 1 万坪の園内には、600 種 100 万本の花しょうぶが植えられ、6 月に入ると紫や青、白、ピンクの花が園内を彩る。	宇陀市 室生
平成榛原子供 のもり公園	恐竜の遊具等やキャンプ場、バーベキュー場も併設されているレジャー施設。 森の館内にはダムの役割や水の性質を学べる「アクアランド」や、森に住む生物について学べる「ウッディランド」もある。	宇陀市 榛原
龍鎮・ 深谷溪谷	室生ダム右岸の支川深谷川沿いの溪谷。龍鎮の滝がある。 途中の室生集落内には樹齢 300 年のしだれ桜を有する西光寺や、地滑りを立体映像で疑似体験できる「地滑り資料館 あさぎりホール」がある。	宇陀市 榛原 室生
墨坂神社	社記によると神武天皇御東征当時、墨坂の地にすでに祀られていた神々で天御中主神・高皇産霊神・神皇産霊神・伊邪那技神・伊邪那美神・大物主神の六柱神の総称が墨坂大神である。	宇陀市 榛原

表 7.2.2-1 室生ダム周辺の観光施設等(その2)

施設名称	概要	所在地
平井大師山 石仏群	菟田野の北東、平井の大師山に残る四国八十八カ所を模した霊場。幕末の石工、丹波の佐吉照信が弟子たちと共に刻んだもので、約 100 体の石仏が大師山をとりまいている。	宇陀市 菟田野
道の駅 宇多路大宇陀	宇陀市大宇陀拾生の国道 166 号と国道 370 号交差点にある道の駅。	宇陀市 大宇陀
惣社水分神社 <small>みくまり</small>	正式な呼称は、 <small>ほうのにますしきないそうじやう だ みくまり</small> 芳野坐式内総社宇陀水分神社。大和朝廷時代の飛鳥を中心に、宇陀地方一帯の水の守り神として芳野川の上流、上芳野にこの一郷の水分神社の総社として創祀された。本殿は、大正二年、隣接する八幡宮を合祀したもの。	宇陀市 菟田野
日張山青蓮寺 <small>せいれんじ</small>	右大臣藤原豊成公の息女中将姫は継母のざん言により 14 才のとき日張山に配流されたが、のちに父豊成公と中将姫が再会をはたした尼寺。逢いたい人と夢かなう寺として有名。	宇陀市 菟田野
本郷の瀧桜 (又兵衛桜)	戦国武将後藤又兵衛がこの地へ落ちのび、僧侶となり一生を終えたという伝説があり、後藤家の屋敷跡にあることから別名「又兵衛桜」と呼ばれている。一説には樹齢 300 年ともいわれ、幹周約 3m、高さ約 13m の見事な枝だれ桜。	宇陀市 大宇陀
阿騎野・人麻呂公園	柿本人麻呂が「かぎろひ」の歌を詠んだとされている地にある公園で、万葉植物・四阿・柿本人麻呂像があり、掘立柱建物・竪穴式住居が復元されている。	宇陀市 大宇陀



図 7.2.2-2 室生ダム周辺の観光施設

(3) 文化財等

室生ダム流域市町村の宇陀市には、表 7.2.2-2 に示す文化財がある。

表 7.2.2-2 室生ダム周辺の文化財(その1)

指定	種別	名称
国	建造物	大蔵寺本堂
	建造物	大蔵寺大師堂
	彫刻	木造薬師如来立像(大蔵寺)
	彫刻	木造天部形立像(大蔵寺)
	建造物	片岡家住宅【主屋(居室部・客室部)、表門】
	建造物	十三重塔【石造十三重塔】
	彫刻	木造薬師如来坐像(覚恩寺)
	造物	笹岡家住宅【主屋、表門】
	史跡	森野旧薬園
	史跡	松山西口関門
	史跡	宇陀松山城跡
	天然記念物	カザグルマ自生地
	重要伝統的建造物群保存地区	宇陀市松山伝統的建造物群保存地区
	建造物	宇太水分神社本殿
	建造物	宇太水分神社末社春日神社本殿
	建造物	宇太水分神社末社宗像神社本殿
	工芸	黒漆金銅装神輿
	工芸	黒漆瓶子
	天然記念物	ハツ房スギ
	史跡	見田・大沢古墳群
	建造物	佛隆寺 石室
	絵画	絹本著色仏涅槃図(宗祐寺)
	彫刻	木造多聞天立像(宗祐寺)
	工芸	銅鐘(戒長寺)
	彫刻	銅造誕生釈迦仏立像(悟真寺)
	彫刻	木造薬師如来立像(西方寺)
	史跡	文祢麻呂墓
	建造物	室生寺五重塔
	建造物	室生寺金堂
	建造物	室生寺本堂(灌頂堂)
	建造物	室生寺御影堂
	建造物	室生寺納経塔(石造二重塔)
	建造物	室生寺五輪塔(石造五輪塔、小五輪塔2基、基壇付)
	建造物	室生寺弥勒堂
	絵画	板絵著色伝帝釈天曼荼羅図(金堂来迎壁)(室生寺)
	彫刻	木造如意輪観音坐像(室生寺)
	彫刻	木造弥勒菩薩立像(室生寺)
	彫刻	木造釈迦如来立像(室生寺)
	彫刻	木造十一面観音立像(室生寺)
	彫刻	木造薬師如来立像(伝空海作)(室生寺)
	彫刻	木造文殊菩薩立像(伝空海作)(室生寺)
	彫刻	木造釈迦如来坐像(室生寺)
	彫刻	木造地藏菩薩立像(室生寺)
	彫刻	木造十二神将立像(室生寺)
	工芸	両部大壇具(室生寺)
	工芸	大神宮御正体(室生寺)
	天然記念物	室生山暖地性シダ群落
	彫刻	木造地藏菩薩立像(大野寺)
	彫刻	木造地藏菩薩立像(春覚寺)
	彫刻	木造地藏菩薩立像(中村区)
史跡	大野寺石仏	
天然記念物	向淵スズラン群落	
選定保存技術(個人)	茅葺	
特別天然記念部	オオサンショウウオ	
特別天然記念部	ニホンカモシカ	

表 7.2.2-2 室生ダム周辺の文化財(その2)

指定	種別	名称	
県	建造物	山岡家住宅【主屋、座敷、内蔵】	
	建造物	旧山岡家住宅【主屋、長屋門】	
	建造物	大蔵寺石塔婆【石造塔(現在十重)】	
	絵画	絹本著色聖徳太子絵伝(大蔵寺)	
	絵画	絹本著色阿弥陀聖衆来迎図(大蔵寺)	
	彫刻	木造地藏菩薩立像(大蔵寺)	
	彫刻	木造地藏菩薩坐像(大蔵寺)	
	建造物	万法寺本堂	
	建造物	水分神社本殿	
	彫刻	木造阿弥陀如来坐像(覚恩寺)	
	史跡	谷脇古墳	
	無形民俗文化財	平尾のオンダ	
	無形民俗文化財	野依のオンダ	
	史跡	駒帰廃寺(伝安楽寺) 附瓦窯跡	
	天然記念物	無洗樋(真証寺)	
	彫刻	木造薬師如来坐像(西峠区)	
	彫刻	木造菩薩坐像(伝如意輪観音)(陽雲寺)	
	彫刻	木造不動明王立像(青龍寺)	
	彫刻	木造薬師如来及両脇侍像(戒長寺)	
	彫刻	木造薬師如来坐像(戒長寺)	
	工芸	鰐口(西方寺)	
	史跡	奥ノ芝1号墳・2号墳	
	天然記念物	御井神社境内のツルマンリョウ群落	
	天然記念物	初生寺境内のツルマンリョウ自生地	
	天然記念物	戒場神社のホオノキの巨樹	
	天然記念物	戒長寺のお葉つきイチョウ	
	天然記念物	佛隆寺のサクラの巨樹	
	天然記念物	高井の千本杉	
	天然記念物	内牧の無洗樋	
	建造物	海神社本殿	
	建造物	龍穴神社本殿	
	絵画	絹本著色真言八祖像(室生寺)	
	彫刻	能面(正福寺)	
	古文書	染田天神講文書	
	有形民俗文化財	染田天神講連歌堂	
	建造物	光明寺山門	
	建造物	山邊家住宅	
	工芸品	水晶五輪塔納置黒漆宝篋印塔形舍利殿(室生寺)	
	市	建造物	旧細川家住宅【主屋、内蔵、外蔵、看板】
		絵画	阿騎野の朝【油彩画】
歴史資料		阿騎野の万葉歌碑	
歴史資料		春日神社の水鉢 五輪塔地輪	
歴史資料		春日神社の水鉢	
歴史資料		道標(岩室区)	
考古資料		谷脇古墳出土遺物	
彫刻		木造阿弥陀如来坐像(極楽寺)	
書籍・典籍		大般若経(陽雲寺)	
絵画		紙本著色仏涅槃図	
建造物		旧旅籠 あぶらや【主屋】	
無形民俗文化財		田口水分神社の獅子舞	
無形民俗文化財		龍口白山神社の獅子舞	
無形民俗文化財		室生の獅子舞	
無形民俗文化財		大野のいさめ踊り	
史跡		飯降薬師の磨崖仏	
史跡		穴薬師石仏	
建造物		小原の笠塔婆	
史跡		下笠間の阿弥陀磨崖仏	

【出典：宇陀市HP】

7.3 ダム事業と地域社会情勢の変遷

室生ダム事業に関わる地域社会の情勢と変化を以下に整理した。

表 7.2.2-1 室生ダム事業と地域社会の変化

年代	室生ダム事業とインフラ整備事業	地域社会の変化			
		宇陀市			
		旧大宇陀町	旧菟田野町	旧榛原町	旧室生村
M26				榛原町発足	
S5				参宮急行電鉄 榛原駅開通	
S17		大宇陀町発足			
S20				榛原空襲	
S21				宇陀川の河川改修工事着工	
S24		都市計画道路「西町線」(国道166号)農協大正支所～西山間が開通			
S29				伊那佐村を編入合併、桜井市大字安田・笠間を編入	
S30				内牧村を編入合併	室生村発足
S31			菟田野町発足		室生市簡易水道完成
S34			伊勢湾台風の影響、死者2人、負傷者58人、全壊家屋9戸、流失家屋10戸、半壊家屋99戸、床上浸水437戸、床下浸水764戸、田畑被害306ha、道路被害6500m、橋梁流失53、山崩れ1750箇所、木材流失5000石。被害総額は5億5,843万5千円	伊勢湾台風で大きな被害	伊勢湾台風の影響、死者8名、重傷者3名、軽傷者多数、住宅全壊17戸、半壊52戸、流失31戸、非住宅半壊46戸、家屋を除く被害額18億8,000万円
S36					第2室戸台風の影響、住宅全壊7戸、半壊26戸、その他農産物、非住宅等被害甚大
S39		都市計画道路「中央線」「北町線」竣工			
S40					合併10周年記念式典
S41	基本計画決定		国道166号古市市場米谷橋～松井新橋間開通		台風24号により村内各所で災害発生
S41	室生ダム調査所設置				
S43	立入調査協定書調印			檢牧浄水場完成	西谷簡易水道完成
S44	実施方針の指示 室生ダム建設所に改称 実施計画認可 一般補償基準提示	健民グラウンド(都市計画大宇陀運動公園)完成	国道166号菟田野バイパス、水分大橋・新岩崎橋の開通	桜井市大字柳・角柄を編入 国道165号の改良完成	国道165号市内全面改修完成
S45	一般補償基準要約	都市計画区域決定	過疎対策事業計画の樹立	都市計画区域決定	過疎振興地域振興計画の樹立 山村振興計画の樹立
S46	本体工事着手 公共補償本調印 初瀬水路工事着手	本郷溜池導水路の大改修事業が完成			台風29号による集中豪雨により1億数千円の影響
S47	本体コンクリート打設開始	合併30周年式典を挙行	台風20号来襲。(家屋全壊2戸、家屋損傷23戸、床上浸水10戸)		
S48	定礎式 初瀬水路完成 本体コンクリート打設完了				
S49	試験湛水開始 竣工式 管理開始 完成検査				
S50		簡易水道小附給水区の給水を開始			
S51			合併20周年式典		室生村簡易水道竣工
S57			台風10号並びに集中豪雨の影響(被害総額16億1,600万円)。災害復旧対策本部を設置し被害復旧(12月解散)	台風10号による被害甚大	台風と低気圧による暴風雨による被害、住宅全壊1戸、半壊2戸、一部破損26戸、家屋を除く被害額11億4,300万円
S59			基本構想議決「ふるさとへのぬくもりを明日につなぐ町」		
S61	室生ダム発電所運転開始	簡易水道中央給水区給水開始			
S62		万葉公園(かざろひの丘)開園		公共下水道供用開始	
H2		県営かんがい排水事業「宮奥ダム」起工式		総合センター・町立図書館完成	
H3		大宇陀町文化会館が竣工	台風19～20号来襲		室生村過疎地域活性化計画の樹立
H4		大宇陀町公共下水道通水			
H5				町制施行100周年記念事業	室生不思議の森公園オープン
H6					むろりーピング計画(村総合計画)策定
H9		道の駅「宇陀路大宇陀」・阿騎野宿・人麻呂公園オープン	台風26号が来襲、町内各地に被害 桜井宇陀広域連合発足	桜井宇陀広域連合発足	
H10			台風9号接近、大きな被害		道の駅「宇陀路室生」オープン 台風7号により室生寺五重塔をはじめ村内各地に被害
H11		多世代交流プラザ「大宇陀温泉あきののゆ」オープン		全国難読町村サミット開催	室生村福祉保健交流センター「ぬく森の湯」オープン
H13				平成榎原子供のもり公園開園	
H15			オレンジ山児童公園整備完了 「室生ダム水源地域ビジョン」策定		
H16				国道369号榛原バイパス開通	
H17	室生ダム貯水池水質保全事業完了				「音楽の森」ふれあい館オープン
H18		3町1村が合併し宇陀市となる 国道369号梶坂バイパス開通			
H19		室生山上公園芸術の森開園 一般国道166号「女寄道路」開通			
H20			第1回宇陀市民スポーツ大会開催(以降毎年開催) 第1回宇陀シティマラソン開催(以降毎年開催)		
H22					平成遠都1300年祭の開幕イベント(室生寺で仁王門、五重塔のライトアップ) 心の森総合福祉公園開園
H24	室生ダム水環境改善事業完了				
H25		市立病院グランドオープン ワールドメイプルパーク(奈良カエデの郷)開園			

色の凡例

市町村発足、合併
災害
イベント、住民活動、交流活動
交流施設、地域振興拠点等の開設

7.4 ダムと地域の関わり

7.4.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理

(1) 水源地域ビジョンの策定

21世紀のダム事業・ダム管理においては、従来からダムに求められていた治水利水だけでなく、水源地域の自立的、持続的な活性化を図り、水循環等に果たす水源地域の機能を維持するとともに、自然豊かな水辺環境や伝統的な文化資産等を国民が広く利用できるよう、ハード及びソフト両面の総合的な整備を実施し、バランスのとれた流域の発展を図ることが期待されている。

このため、国土交通省では直轄ダム及び水資源機構ダムを対象に、地域ごとにダム水源地域の自治体等と共同し、ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための「水源地域ビジョン」を策定することとした。

室生ダムでは地元住民や関係機関等が共同して「室生ダム水源地域ビジョン」を検討し、平成15年2月に策定された。

室生ダム水源地域ビジョンの概要を以下に示す。

「室生ダム水源地域ビジョン」は、室生ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のための行動計画として、室生ダム水源地域の活性化に向けた基本方針を定め、基本方針の実現のための具体的な方策を、ソフト対策に重点を置いている。

室生ダム水源地域ビジョンにおける、「室生ダム水源地域の特性」及び「地域の目指す方向性と室生ダムの位置づけ」は、表7.4.1-1及び表7.4.1-2に示す。

表 7.4.1-1 室生ダム水源地域の特性

対象地域	地域の特徴や資源ポテンシャル	活性化に向けた課題点
水源地域全体	<ul style="list-style-type: none"> 集客力のある歴史、文化資源 比較的高いアクセス利便性 豊かな自然環境 	<ul style="list-style-type: none"> 室生ダム周辺施設と既存観光施設等との連携が不十分
室生ダム周辺地域	<ul style="list-style-type: none"> 貯水池湖畔に整備された様々なレクリエーション施設 利活用に適した水質保全ダム貯水池 治水・利水面で広範囲の地域に貢献 地域内幹線道路からの比較的高いアクセス利便性 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな施設整備には適さない 貯水池での湖面利用が困難 貯水池周辺の施設連携が困難 利用者の適切な誘導が不十分 室生ダムに関するPR不足

表 7.4.1-2 水源地域自治体の目指す方向性と室生ダムの位置づけ等

水源地域自治体の目指す方向性	室生ダムの位置づけ等
<p>●室生村^{注1}の目指す地域整備の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村づくりの目標： 『21世紀に向けての希望と愛着のもてる 明るく豊かな村づくり』 ・文化芸術活動による地域の活性化を目的にした「アートアルカディア計画」が策定、実施されている。 <p>●榛原町^{注1}の目指す地域整備の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ： 『「高原文化のまち」はいばら』 <p>●大宇陀町^{注1}の目指す地域整備の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の都市像： 『歴史・自然を活用する 個性ある交流の町』 『生活の利便性が高く 潤いのある暮らしの町』 『ふれあい豊かな元気な町』 <p>●菟田野町^{注1}の目指す地域整備の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標： 『ぬくもりのあるもっと元気なまち 菟田野』 <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室生ダム水源地域を含む1市3町3村^{注2}で構成される桜井宇陀広域連合では、地域活性化に向けた「桜井宇陀ふるさと市町村圏計画」を策定している。 	<p>●室生村における室生ダムの位置づけ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「交流ゾーン」として、既存のスポーツ施設に加え、福祉・文化・観光・環境関連の各施設の整備が計画されている。 <p>●榛原町における室生ダムの位置づけ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「水辺のレクリエーションゾーン」として、平成榛原子供のもり公園の充実や、ダム湖を活かした親水空間づくりが示されている。

注1. 室生村、榛原町、菟田野町は大宇陀町を含めた町村合併により宇陀市となり、それぞれ宇陀市室生、榛原、菟田野、大宇陀となっている。

注2. 桜井宇陀広域連合は、前述の3町1村が宇陀市となったことにより、現在は2市2村(桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村)で運営されている。

【出典：室生ダム水源地域ビジョン】

7.4.2 室生ダム水源地域ビジョン

(1) 概要

室生ダムでは、平成 14 年度に「室生ダム水源地域ビジョン」を策定し、水源地域の市町村と一体となった活性化への取り組み方針がまとめられた。

基本理念

基本理念は以下のとおりとする。

自然・歴史・都市を繋ぎ快適環境を育むレイクむろう

基本方針

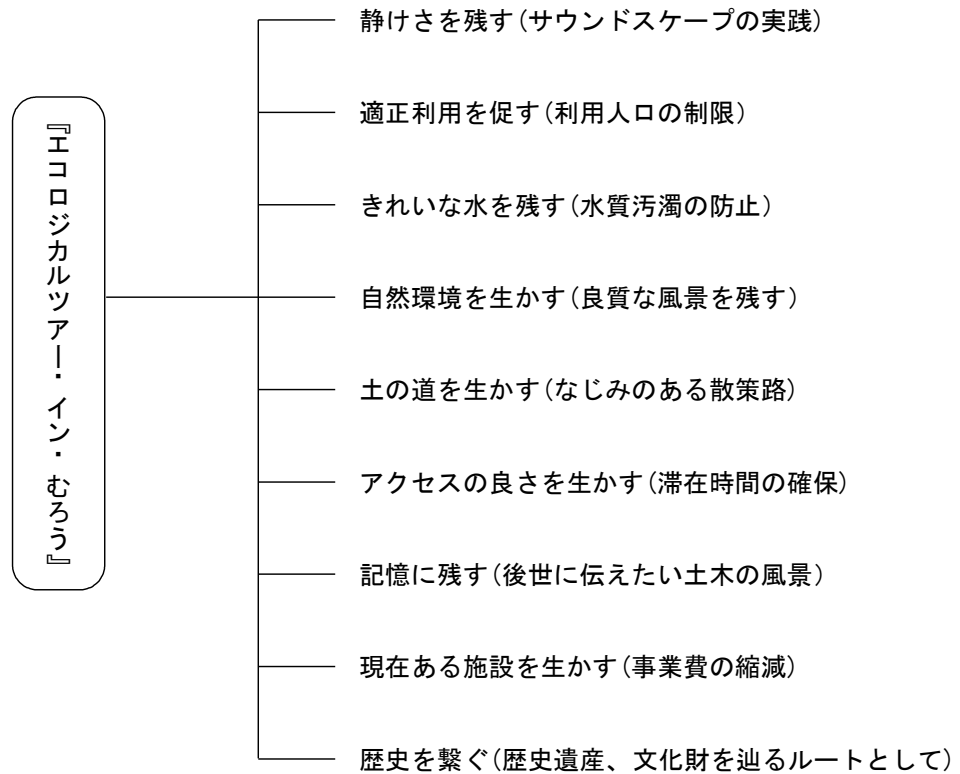


図 7.4.2-1 室生ダム水源地域ビジョンの基本理念

動線計画

(1) 拠点、出発点としての機能強化
 対象地区・拠点： 「ダムサイト下流地区」
 「大野地区」
 「子供のもり地区」

(2) 繋ぐ道 < 湖畔(陸上)の道 >
 右岸:車、自転車、人、通過動線
 自家用車等で上下流の地区(施設)を結ぶ。
 左岸:自転車、人
 車を気にせずにゆっくりと、のんびりと走り、歩く。

(3) 繋ぐ道 < 湖上(水上)の道 >
 カヌーを用いて湖上を周遊する。
 陸上からとは違った新しい視点から湖水や対岸風景を眺める。
 湖水より水辺の環境を見ることで、水質保全等への意識を高める。

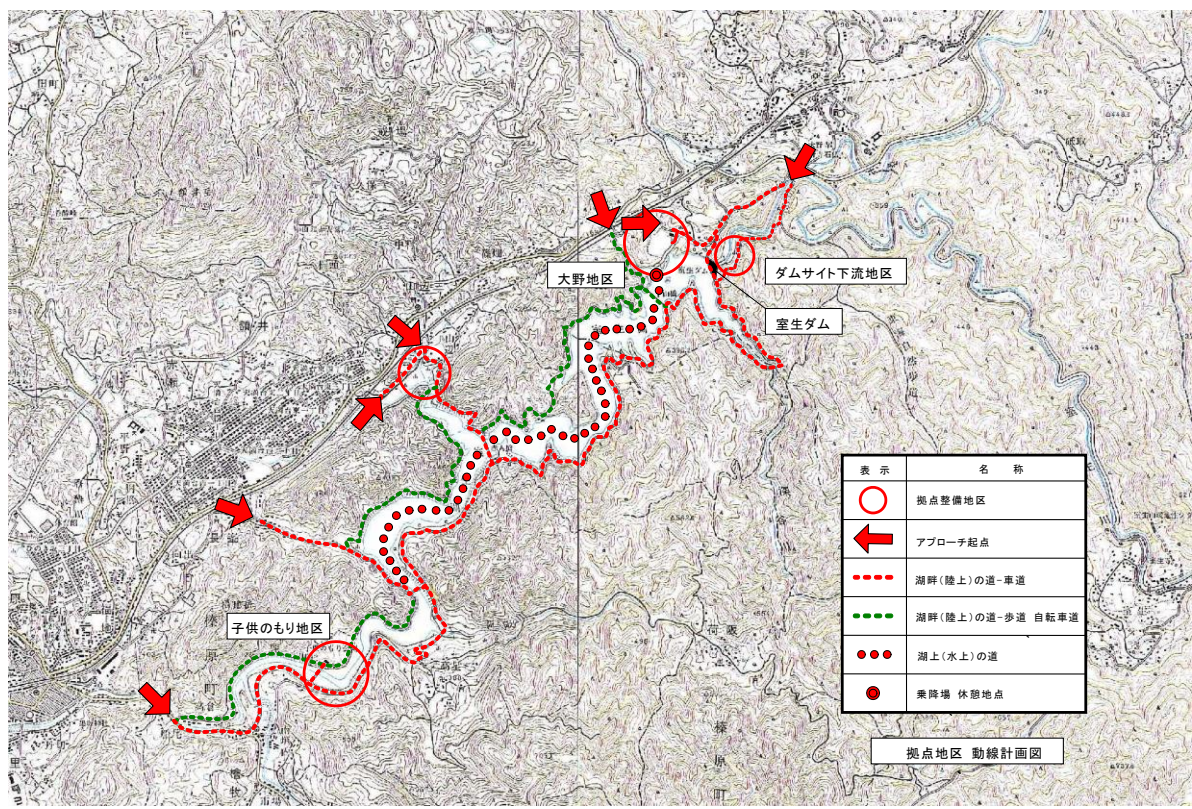


図 7.4.2-2 室生ダム水源地域ビジョンの拠点地区と動線計画

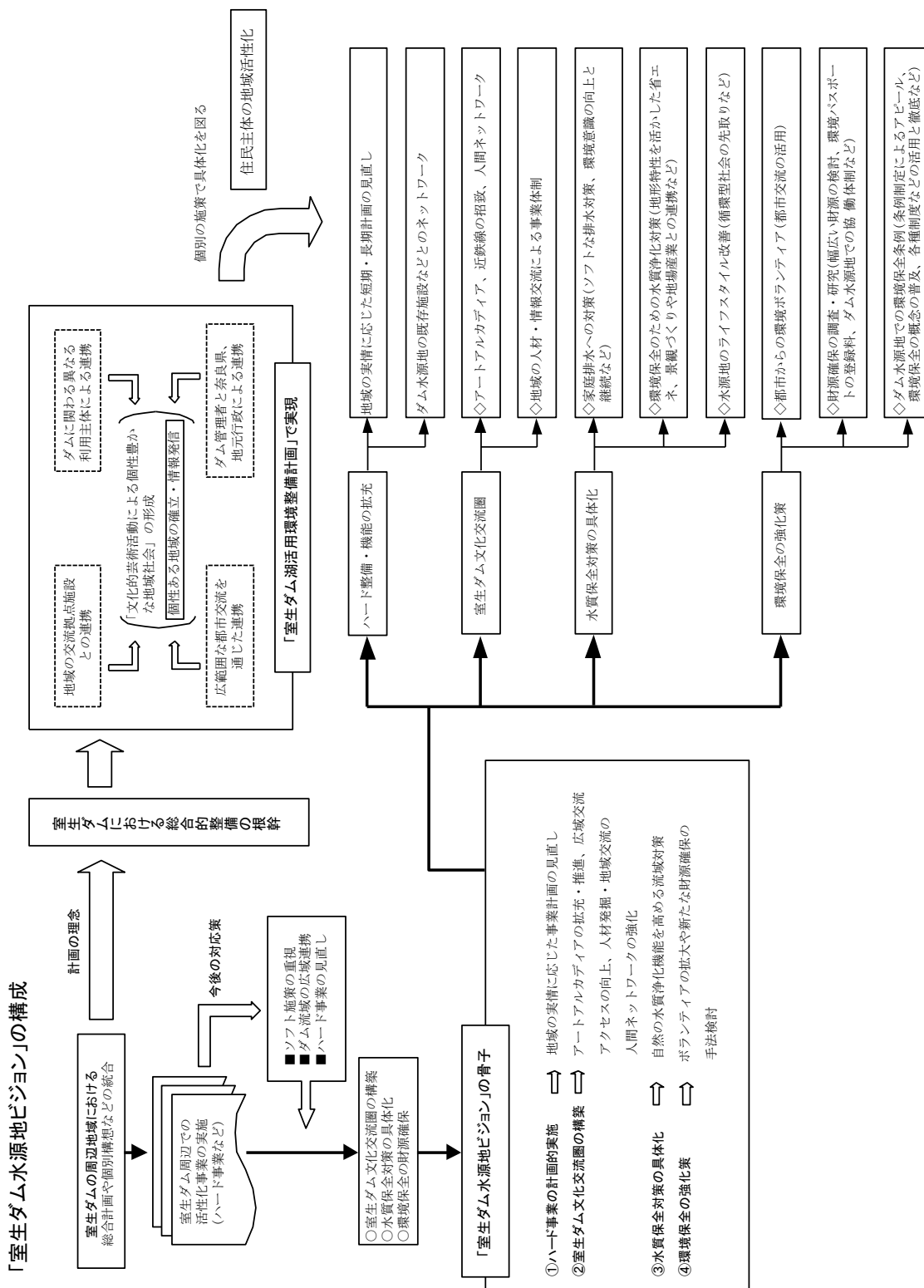


図 7.4.2-3 室生ダム水源地域ビジョンの構成

(2) 実行連絡会の実施状況

室生ダム水源地域ビジョン実現に向けて、実行連絡会を毎年開催している。実行連絡会では、各団体の前年度の取り組み等の報告、及び当該年度のイベント等の実施予定、その他意見交換等が行われている。

また、室生ダム水源地域ビジョン実行連絡会では、毎年秋に室生ダム貯水池周辺において清掃活動を行っている。

表 7.4.2-1 実行連絡会の開催状況(至近5ヵ年)

年度	開催日	内容
平成 21 年度	8 月 26 日	各団体の平成 20 年度の実施状況及び平成 21 年度のイベント等の実施計画の報告、水源地域ビジョン策定経過及び連絡、水環境改善事業及びダム湖活用環境整備事業の紹介、その他意見交換
平成 22 年度	8 月 26 日	各団体の平成 21 年度の実施状況及び平成 22 年度のイベント等の実施計画の報告、水源地域ビジョン策定経過及び連絡、水環境改善事業及びダム湖活用環境整備事業の紹介、その他意見交換
平成 23 年度	8 月 26 日	各団体の平成 22 年度の実施状況及び平成 23 年度のイベント等の実施計画の報告、その他意見交換
平成 24 年度	8 月 29 日	各団体の平成 23 年度の実施状況及び平成 24 年度のイベント等の実施計画の報告、その他意見交換
平成 25 年度	9 月 5 日	各団体の平成 24 年度の実施状況及び平成 25 年度のイベント等の実施計画の報告、室生ダム湖面利用ルールの制定、その他意見交換



図 7.4.2-4 実行連絡会の開催風景(平成 25 年度)

(3) ダム管理者の地域に向けた活動等

室生ダム管理所では、地元小学校や地域住民、関係機関等に対してダム等の見学の受入れを積極的に行っており、ダムの機能や地域におけるダムの役割等について説明を行っている。平成25年度の年間見学者数は約360人であった。

平成21年から平成25年の見学会等実施状況一覧は、表7.4.2-2、図7.4.2-5に示すとおりである。また見学者の推移を図7.4.2-6に示す。至近5ヶ年では見学者数は増加している。

表 7.4.2-2 平成21年から平成25年のダム見学会等実施状況

〈平成21年〉

開催日	団体名	人数等	説明内容
5月15日	平群北小学校	44	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう (ダムの説明、堤体内外部、貯水池の見学)
6月12日	平群東小学校	50	
6月26日	平群南小学校	25	
見学者計		119	

〈平成22年〉

開催日	団体名	人数等	説明内容
5月7日	田原本町東小学校	49	施設の役割説明、施設見学を通じてダムの理解を深める
5月13日	平群南小学校	25	
6月11日	平群東小学校	74	
見学者計		148	

〈平成23年〉

開催日	団体名	人数等	説明内容
5月27日	平群南小学校	23	施設の役割説明、施設見学を通じてダムへの理解を深める
6月10日	平群東小学校	63	
見学者計		86	

〈平成24年〉

開催日	団体名	人数等	説明内容
4月17日	朝和小学校4年生	91	施設の役割説明、施設見学を通じてダムへの理解を深める
5月11日	田原本小学校3・4年生	33	
5月25日	平群南小学校4年生	28	
6月8日	平群東小学校4年生	58	
10月12日	平群北小学校4年生	71	
見学者合計		281	

〈平成25年〉

開催日	団体名	人数等	説明内容
3月4日	室生西小学校	24	施設の役割説明、施設見学を通じてダムへの理解を深める
4月16日	朝和小学校4年生	69	
5月14日	平群南小学校4年生	31	
5月17日	榛原東小学校4年生	56	
6月5日	利水者見学会	20	
6月14日	平群東・西小学校4年生	81	
10月11日	平群北小学校4年生	67	
11月5日	小水力発電設備見学会	12	
見学者合計		360	

H21～H25年	見学者合計	994	
----------	-------	-----	--



平成 21 年(平群北小学校)



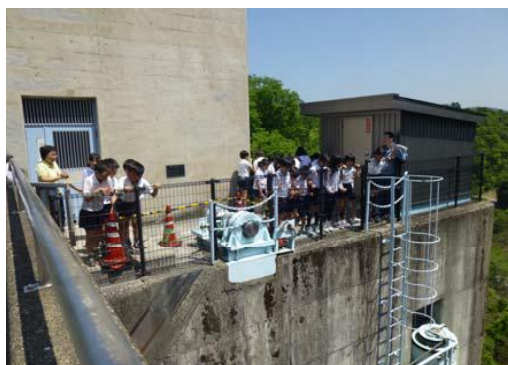
平成 22 年(平群北小学校)



平成 23 年(平群東小学校)



平成 24 年(平群南小学校)



平成 25 年(榛原東小学校)

図 7.4.2-5 ダム見学会の様子

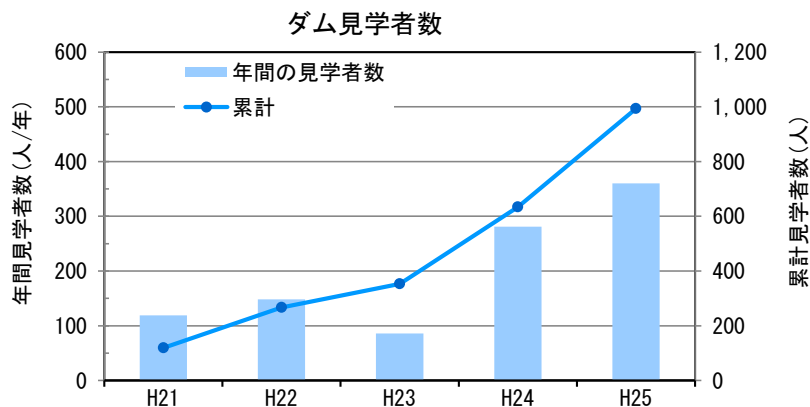


図 7.4.2-6 平成 21 年から平成 25 年のダム見学者数

7.4.3 地域とダム管理者との関わりの評価

室生ダムでは地域ごとにダム水源地域の自治体等と共同し、ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための「水源地域ビジョン」を策定している。

ダムを管理する水資源機構では、関係機関や地域と連携を図りながら、水源地域ビジョンに基づき、実行連絡会やダム見学等を継続的に実施しており、地域の活性化に貢献している。

7.5 ダム周辺の施設状況

7.5.1 ダム周辺観光施設等の状況

室生ダム周辺の主な観光施設等の位置図を図 7.5.1-1 に、室生ダム周辺の主な観光施設を表 7.5.1-1 に示す。



図 7.5.1-1 室生ダム周辺の主な観光施設等位置図

表 7.5.1-1 室生ダム周辺の主な観光施設

<p>●不思議の森公園</p> <p>室生ダム湖畔にある室生村健民グラウンドでは、野球、サッカー、テニスなどを楽しめる。ナイター施設も整備されている。</p>	
<p>●室生農林トレーニングセンター</p> <p>室生ダム湖畔にある室生農林トレーニングセンターでは、バレーボール、バスケットボールなどを楽しめる。</p>	
<p>●室生ダム展望台</p> <p>室生ダム管理所の正面に位置し、室生湖を展望する事ができる。また、東海遊歩道の沿線でもあることから、多くのハイカーが休憩所として利用している。</p>	
<p>●平成榛原子供のもり公園</p> <p>平成13年4月、室生ダムの貯水池湖畔にオープンした。この公園は、21世紀を担っていく子供たちが健やかに成長していくための活動の場となり、また、野外活動やレクリエーションを通して大人と子供の世代間の交流が盛んに行える場となるよう、旧榛原町が整備したものである。</p>	

7.5.2 ダム周辺のイベント等の開催状況

(1) イベント等の実施状況

室生ダム周辺においては、地域住民やNPO等市民団体、奈良県山の日・川の日イベント、子供のもりゆうゆう祭り、I LOVE 宇陀川など各種イベントが開催されている。室生ダム周辺のイベント等の開催状況を表 7.5.2-1 から表 7.5.2-6 及び図 7.5.2-1 から図 7.5.2-4 に示す。

表 7.5.2-1 室生ダム周辺のイベント等の開催状況【奈良県山の日・川の日イベント】

開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	行事内容
平成 21 年 7 月 20 日	奈良県山の日・川の日イベント	室生ダム管理所 桜井浄水場	奈良県	29 名	利水者と協力し、奈良県山の日・川の日にあわせ浄水場とダム施設の見学会を実施
平成 22 年 7 月 19 日	奈良県山の日・川の日イベント 「あつまれ！水・水探検隊」	堤体内他	水資源機構	7 名	
平成 23 年 7 月 18 日	奈良県山の日・川の日イベント 「あつまれ！水・水探検隊 3」	堤体内他 桜井浄水場	奈良県土木部河川課(奈良県水道局、水資源機構共催)	31 名	
平成 24 年 7 月 16 日	奈良県山の日・川の日 「あつまれ！水・水探検隊 4」	ダム堤体内他 桜井浄水場	奈良県土木部河川課(奈良県水道局、水資源機構共催)	24 名	
平成 25 年 7 月 15 日	奈良県山の日・川の日 「あつまれ！水・水探検隊 5」	ダム堤体内他 桜井浄水場	奈良県土木部河川課(奈良県水道局、水資源機構共催)	42 名	



図 7.5.2-1 奈良県山の日・川の日イベント開催状況(写真：平成 25 年)

表 7.5.2-2 室生周辺のイベント等の開催状況【子供のもりゆうゆう祭り】

開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	行事内容
平成 21 年 9 月 20 日	子供のもり ゆうゆう祭り	平成榛原子供 もり公園	宇陀市	多数	ロープスライダー・ネイ チャーゲーム・スタンプ ラリー・ストラックアウトなどの屋外ゲーム、ア クセサリー・布・ポーチ・ 木工品などの物品販売な ど、大人から子供まで楽 しめるお祭り 室生ダムは、ダムの働き や仕組みについて知っ てもらう「ダムの説明、堤 体外部、貯水池の見学、 パネル展示等」などで参 加している
平成 22 年 11 月 7 日	子供のもり ゆうゆう祭り	平成榛原子供 もり公園	(財)宇陀市文化 スポーツ振興団	多数	
平成 23 年 9 月 18 日	子供のもり ゆうゆう祭り	平成榛原子供 もり公園	宇陀市	多数	
平成 24 年 10 月 14 日	子供のもり ゆうゆう祭り	平成榛原子供 もり公園	宇陀市	多数	
平成 25 年 8 月 31 日	子供のもり ゆうゆう祭り	平成榛原子供 もり公園	子供のもり公園 活性化協会	台風の影響 で中止	



図 7.5.2-2 子供のもりゆうゆう祭り開催状況(左写真 平成 21 年、右写真 平成 22 年)

表 7.5.2-3 室生ダム周辺のイベント等の開催状況【I LOVE 宇陀川】

開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	行事内容
平成 21 年 4 月 12 日	I LOVE 宇陀川	室生ダム管理所周辺	「I Love 宇陀川」 連絡会	14 名	宇陀市内の非営 利団体「I LOVE 宇 陀川 連絡会」は、 県内の自然との 共生を考える人 たちとのネット ワークづくりを 行っており、会の 活動として行楽シ ーズン前後(4 月,11 月)に、宇 陀川室生ダムサ イトのゴミ拾い 掃活動を行って いる
平成 21 年 11 月 8 日	I LOVE 宇陀川	室生ダム管理所周辺	「I Love 宇陀川」 連絡会	11 名	
平成 22 年 4 月 4 日	I LOVE 宇陀川	貯水池周辺	「I Love 宇陀川」 連絡会	15 名	
平成 22 年 11 月 7 日	I LOVE 宇陀川	貯水池周辺	「I Love 宇陀川」 連絡会	8 名	
平成 23 年 4 月 3 日	I LOVE 宇陀川	貯水池周辺	「I Love 宇陀川」 連絡会	16 名	
平成 23 年 11 月 6 日	I LOVE 宇陀川	貯水池周辺	「I Love 宇陀川」 連絡会	25 名	
平成 24 年 4 月 1 日	I LOVE 宇陀川	貯水池周辺	「I Love 宇陀川」 連絡会	30 名	
平成 24 年 11 月 4 日	I LOVE 宇陀川	貯水池周辺	「I Love 宇陀川」 連絡会	30 名	



図 7.5.2-3 I LOVE 宇陀川開催状況(左写真 平成 23 年、右写真 平成 24 年)

表 7.5.2-4 室生ダム周辺のイベント等の開催状況【「水の週間」ダム見学会】

開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	行事内容
平成 21 年 8 月 4 日	「水の週間」 ダム見学会	室生ダム管理所 比奈知ダム管理所	奈良県	78 名	水の貴重さや、水 資源開発の重要 性について国民 の関心を高め、理 解を深める目的 で、昭和 52 年か ら、毎年 8 月の「水 の日」と「水の週 間」に、奈良県と 水資源機構共催 で行うダム見学 会 ダムの働きや仕 組みについて知 ってもらう
平成 22 年 8 月 4 日	「水の週間」 ダム見学会	ダム堤体内他	水資源機構関西支社・奈 良県地域振興部資源調 整課	35 名	
平成 23 年 8 月 3 日	「水の週間」 ダム見学会	ダム堤体内他	奈良県地域振興部地域 政策課(水資源機構関西 支社共催)	36 名	
平成 24 年 8 月 1 日	「水の週間」 ダム見学会	ダム堤体内他	奈良県地域振興部地域 政策課(水資源機構関西 支社共催)	35 名	

表 7.5.2-5 室生ダム周辺のイベント等の開催状況【水源地域ビジョン実行連絡会の清掃活動】

開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	行事内容
平成 21 年 11 月 30 日	清掃活動	室生ダム管理所周辺	室生ダム水源地域 ビジョン実行 連絡会	29 名	室生ダム周辺道路の清掃活動
平成 22 年 11 月 30 日	清掃活動	貯水池周辺		32 名	室生ダム周辺の清掃活動
平成 24 年 3 月 18 日	清掃活動	貯水池周辺		33 名	室生ダム周辺の清掃活動
平成 24 年 11 月 29 日	清掃活動	貯水池周辺		38 名	室生ダム周辺の清掃活動
平成 25 年 11 月 27 日	清掃活動	貯水池周辺		45 名	室生ダム周辺の清掃活動

表 7.5.2-6 室生ダム周辺のイベント等の開催状況【その他イベント】

開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	行事内容
平成 22 年 10 月 19 日	水源見学バスの旅	ダム堤体内他	大阪市吹田市	38 名	大阪府吹田市主催による水源としての室生ダム施設見学、水質試験
平成 22 年 11 月 30 日	名張川宇陀川 フォトウォーク・ダム見学会	ダム堤体内他	琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会	24 名	琵琶湖・淀川流域圏の再生について、その取り組みなどに理解を深める
平成 24 年 8 月 25 日	ダム友と語る会 施設見学会	ダム堤体内他	ダム愛好会・水資源機構	16 名	施設の役割説明、施設見学を通じてダムへの理解を深める。
平成 25 年 11 月 17 日	室生ダム湖クリーンウォーク	貯水池周辺	東榛原まちづくり協議会	約 300 名	室生ダム周辺の清掃活動



【名張川宇陀川フォトウォーク・ダム見学会 (H22)】



【室生ダム湖クリーンウォーク (H25)】

図 7.5.2-4 その他イベントの開催状況

(2) ダムカードの配布

イベント参加者やダム来訪者にダムカードを配布し、ダムへの関心や興味をもってもらう取り組みも行っている。平成24年以降、急激に配布数が増加しており、ダムへの関心が高くなっている。

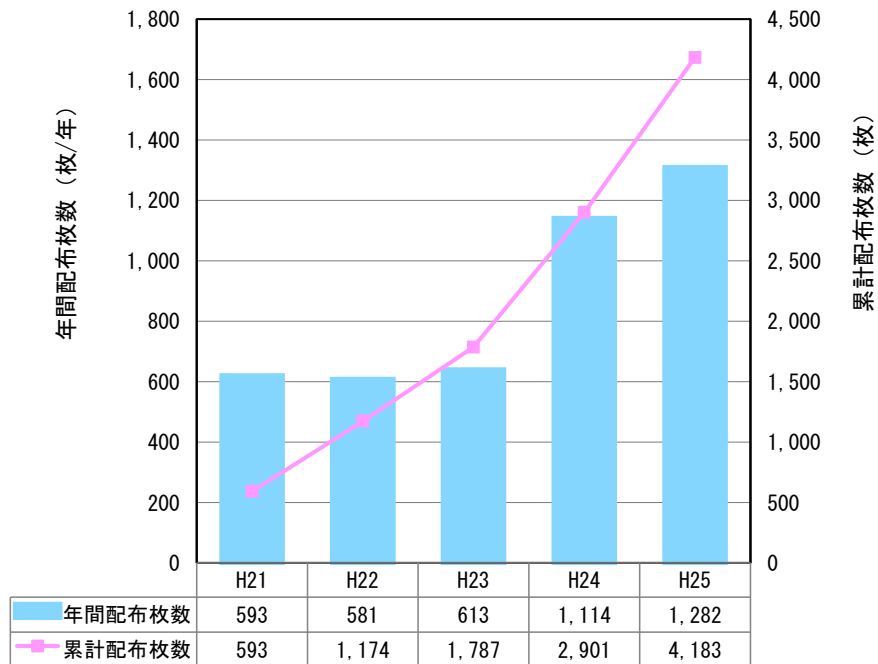


図 7.5.2-5 ダムカード配布状況(平成21~25年)

7.5.3 ダム周辺利用の評価

室生ダムでは、ダム周辺施設やダム湖を活かしたイベントやダム施設の見学会等が数多く行われている。また、周辺各地区における地域活性化の取り組みや、地域団体による環境美化、環境教育清掃等も盛んに行われている。

ダム管理者である水資源機構は、地域活性化や啓発等に資するため、ダムや周辺施設を利用したイベントや活動等の開催支援を積極的、継続的に実施していく役割を担っている。また、地域活動の支援や連携を行い、地域とのパートナーシップ構築を図っていくことも重要である。

7.6 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査編)の結果

7.6.1 ダム湖利用実態の調査

平成 21 年度に実施した河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)の調査結果の経年変化は図 7.6.1-1 に示すとおりである。

調査開始年の平成 3 年度から平成 12 年度までは、6 万 5 千人前後から 8 万 5 千人前後とゆるやかな増加傾向であった。その後、平成 13 年に「平成榛原子供のもり公園」が完成し、平成 15 年度は年間利用者数が約 14 万人となり、利用者数が 10 万人を超え、平成 18 年度には約 26 万人(調査開始以降最多)となった。

平成 21 年度調査結果では、年間利用者数は約 18 万人であり、前回調査時より利用者数は減少したものの、依然、10 万人を超える利用者がある。また、平成 21 年度調査において、最も多い利用形態は「散策」であった。

なお、魚釣りの利用者数の推移としては、平成 9 年の約 5 万人をピークに平成 15 年まで減少し、平成 18 年以降、再び増加している。この要因としては、釣り人口そのものの増減等が考えられる。

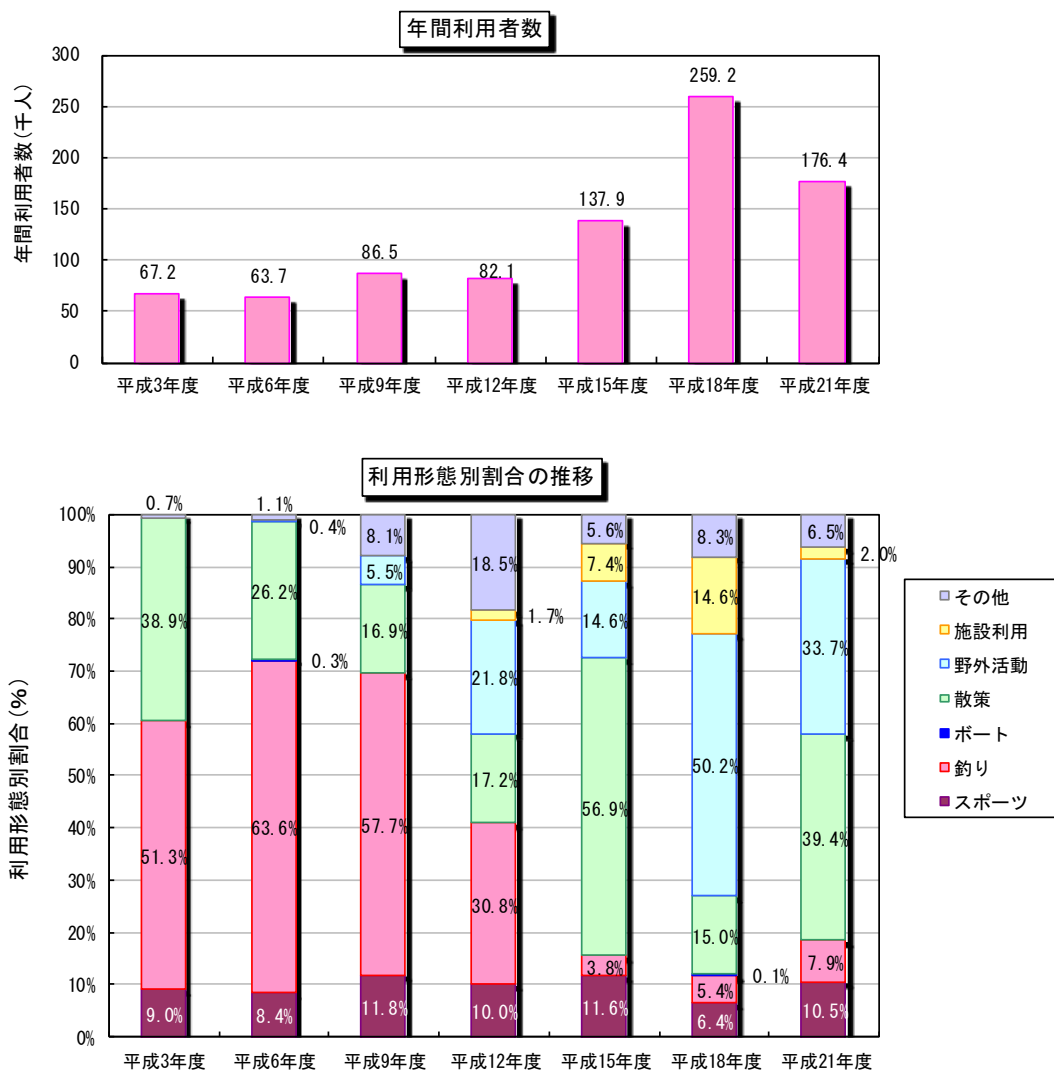


図 7.6.1-1 室生ダム湖周辺の利用者の状況

【参考：ダム湖利用実態調査の調査方法及び年間利用者数の推計方法】

1. 調査項目・調査時期

表-(1) 調査項目、目的および作成する様式

調査項目	目的	調査実施日等
利用者カウント調査	年間利用者数の推計に用いる基礎データ（サンプル日における利用者数）の収集。 あらかじめ設定した「ブロック区分※1」毎に調査を行った。	表-(2)に示す調査実施日（合計7日間）において実施。
利用者アンケート調査	ダム湖の利用目的、感想等の把握および年間利用者数の推計にあたっての基礎データの収集。	
イベント調査	ダム湖における利用者数の影響要因である各種イベントの開催状況および参加人数の把握。	調査実施年の3月1日から翌年2月28日までの1年間における状況を聞き取り調査等により実施。
施設利用者数調査 (H18, 21のみ実施)	ダム湖周辺にある施設での日別利用者数の把握	調査実施年の3月1日から翌年2月28日までの1年間において実施。

※1 ブロック区分：利用者カウント調査において利用者数の集計を行う地理的単位です。基本的には、調査対象区域内の利用環境を踏まえて、調査対象区域を複数のエリアに分割

表-(2) 調査実施日一覧

番号	季節区分	平日休日区分	各年の調査実施日等	備考
1	春季	休日	4月29日(祝日)	ただし、参加人数100人以上のイベント、悪天候、施設の休館日と重なったときは、適宜直近の日で設定
2			5月5日(祝日)	
3		平日	5月中旬の平日	
4	夏季	休日	7月最終日曜日	
5			平日	
6	秋季	休日	11月3日(祝日)	
7	冬季	休日	1月上旬の休日	

2. 調査方法

(1) 利用者カウント調査

- 調査区域内の利用者数を現地で実測する方法である。
- 利用者数は、設定したブロック毎に、時間帯別、性別、年齢別、利用区分別に人数をカウント。
- 原則として、日の出から日没までの間に2時間毎で実施する。
- 各調査時刻における観測値の合計を一日の利用者数とみなす。

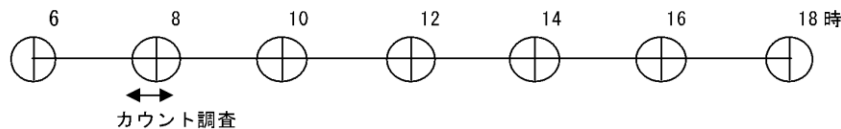


図-(1) 利用者カウント調査の実施間隔の考え方

(2) 利用者アンケート調査

本調査は、利用者に対して直接質問し、回答を得ることにより実施。調査実施日は、利用者カウント調査実施日(7日間)とする。必要なアンケート対象者数(最少サンプル数)は、各調査実施日において20人以上を目標とした。

(3) イベント調査

本調査は、ダム管理者や施設の運営主体等から、調査区域内において開催されたイベントについて、聞き取りを行うことにより調査を実施した。

表-(3) 対象とするイベントの考え方

対象とするイベント等	
期 間	当該年3月から翌年2月の1年間に開催されたイベント等とした。
時 間 帯	対象とする時間帯は特に制限しない。
規 模	参加人数が概ね100人以上となるイベント等とした。
種 類 等	対象とするイベント等の種類や実施・運営主体等は特に制限しない。

3. 年間利用者数の推計方法

各季節別に実施した合計7回の調査(カウント)結果とイベント調査結果をもとに、ダム毎に1年間のダム湖利用者数の推計を行った。

年間の利用者数の推計に当たっては、季節、休日と平日の違いを考慮し、各季節の休日、土曜日、平日の利用者数(実測値を基本とする)を原単位とし、それに各季節の休日・土曜日・平日の日数を乗じた推計値にイベント調査結果を加えることにより、年間利用者数の推計を行った。

なお、平成9年度以前の調査については、イベント調査は行われていないため、上記のイベント人数の加算は行っていない。

【曜日係数】

H15まで:各季節の土曜日および秋季・冬季の平日については実測値がないため、平成4年度に行った補足調査結果より得られた全国平均の比率を乗じる(土曜日=0.37×休日、平日=0.18×休日)ことにより、原単位を求めた。

H18 :H15まで使用した曜日係数は平成4年に設定されたものであり、その間に休暇の取得等に関する社会的な考え方や制度が変化した可能性が考えられたため、H18に新しい曜日係数設定を目的とした追加調査を行った。結果、平成18年は、土曜係数:0.41、平日係数:0.22とされた。

表-(4) 平成21年度高山ダム年間利用者数の推定【平成18年度の係数を使用して試算】

季節	曜日区分	調査日別利用者数(実測値)	原単位			日数			季節別利用者数(推計値)	イベント参加人数(実測値)	年間利用者数(推計値)
			休日	平日	土曜(*1)	休日	平日	土曜			
春季	休日1	680	841(*2)	1,329	345	19	63	13	100,202	7,290	250,426
	休日2	1,002									
	平日	1,329									
夏季	休日	2,094	2,904	947	859	14	65	13	102,032	7,290	250,426
	平日	947									
秋季	休日	583	583	128(*3)	239	19	59	13	21,752		
冬季	休日	539	539	119(*3)	221	17	60	13	19,151		

*1: 休日×0.41

*2: 春季休日1と春季休日2の平均値

*3: 休日×0.22

【出典:平成21年度ダム湖利用実態調査業務 報告書】

7.6.2 室生ダム利用者の特性

ダム湖利用実態調査時に行った利用者アンケート調査結果から、室生ダム利用者の特性を整理した。アンケートの回答者数は、以下のとおりである。

平成 18 年度：147 人 平成 21 年度：131 人

(1) 利用者の属性

利用者層は、平成 18 年度と平成 21 年度ともに 30 歳代と 50 歳代から 60 歳代が多いが、その他の年代の利用者も適度にあり、幅広い年代に利用されている。(図 7.6.2-1 参照)

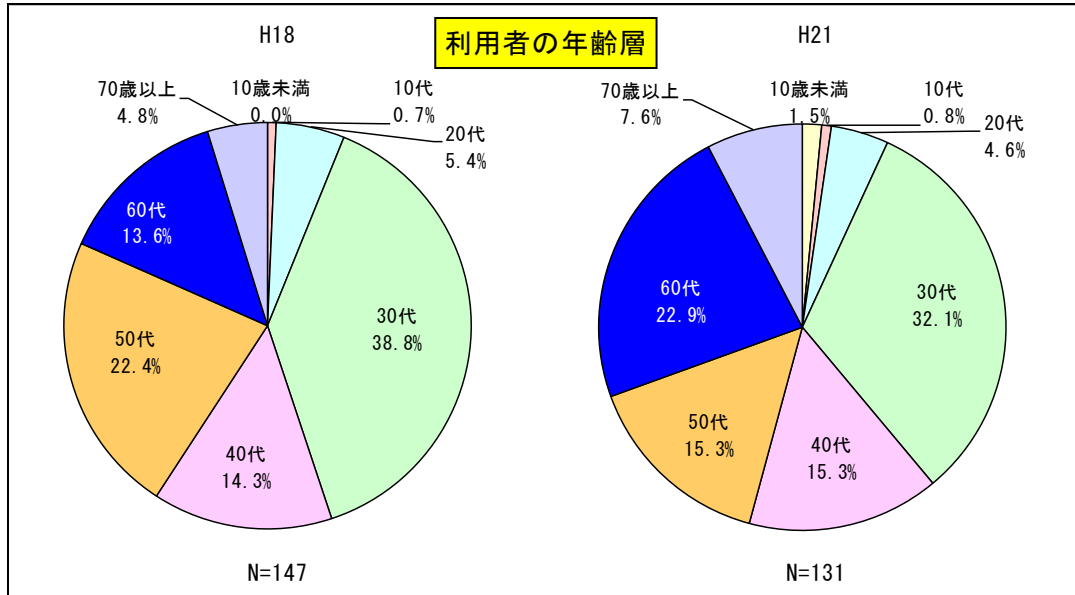


図 7.6.2-1 利用者の年齢層

(2) 利用者の居住地等

来訪者の居住地は、奈良県が最も多く、平成 18 年度は 6 割、平成 21 年度は 7 割を占めている。次いで三重県、大阪府、京都府が多く、近畿圏からの来訪者が約 95%以上を占めている。(図 7.6.2-2 参照)

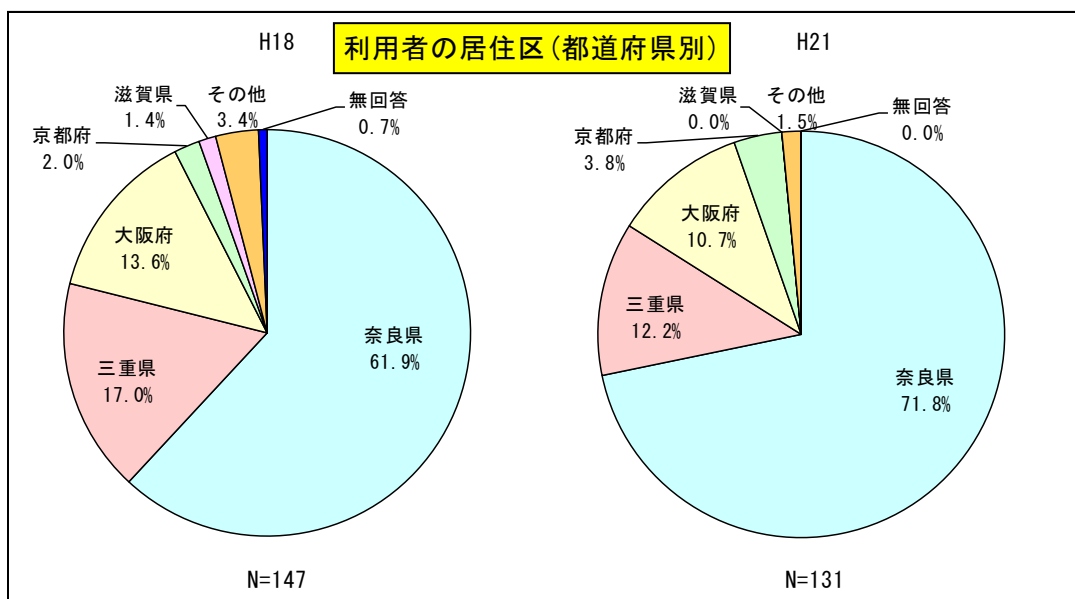


図 7.6.2-2 利用者の居住区(都道府県別)

(3) 来訪経験

室生ダムを訪れた利用者のうち、約 8 割をリピーターが占めている。(図 7.6.2-3 参照)

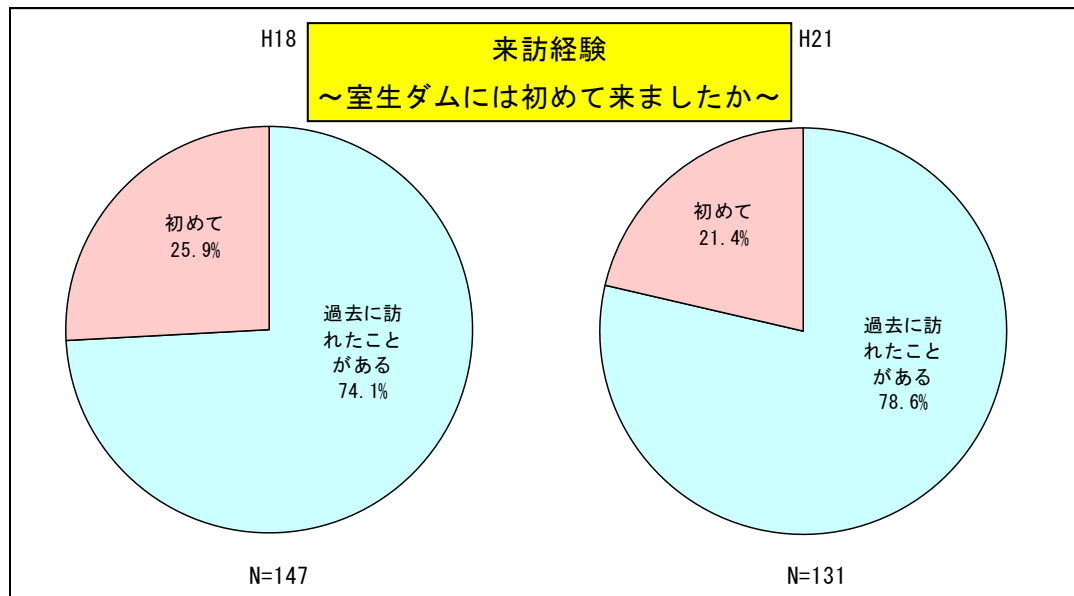


図 7.6.2-3 利用者の来訪経験

(4) 同伴者

平成 18 年度、平成 21 年度ともに家族と来る利用者が最も多い。次いで単独での来訪が多い。家族、単独、友人等で全体の約 90%以上を占めている。(図 7.6.2-4 参照)

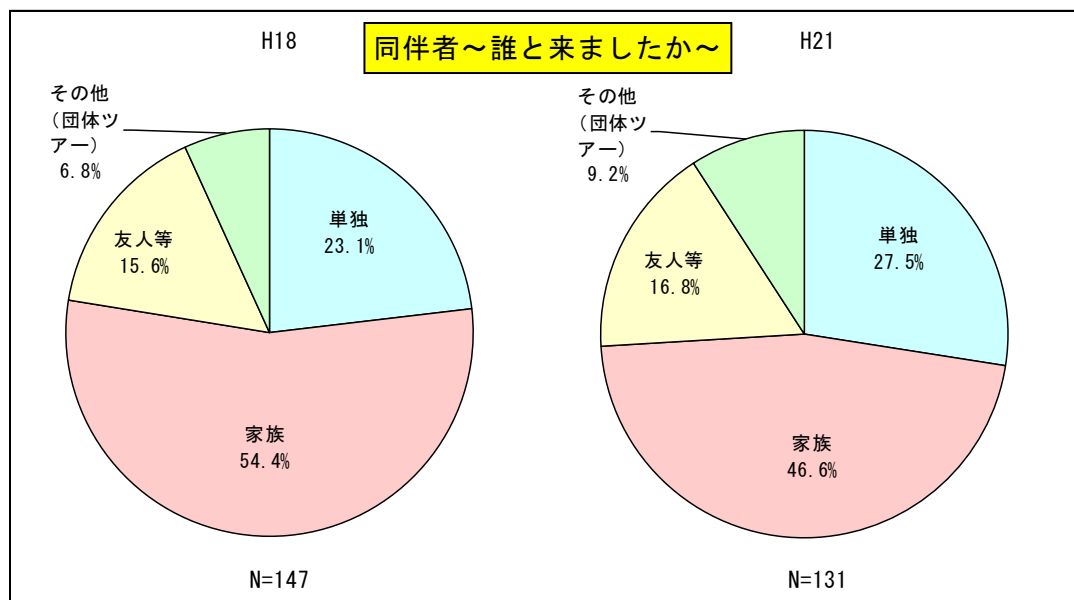


図 7.6.2-4 利用者の同伴者

(5) 来訪目的

室生ダムを訪れた目的は、「レジャー」が最も多く、次いで「スポーツ」となっている。その他としては、「トイレ・休息」や「散歩(犬の散歩)」といった回答が多かった。(図 7.6.2-5 参照)

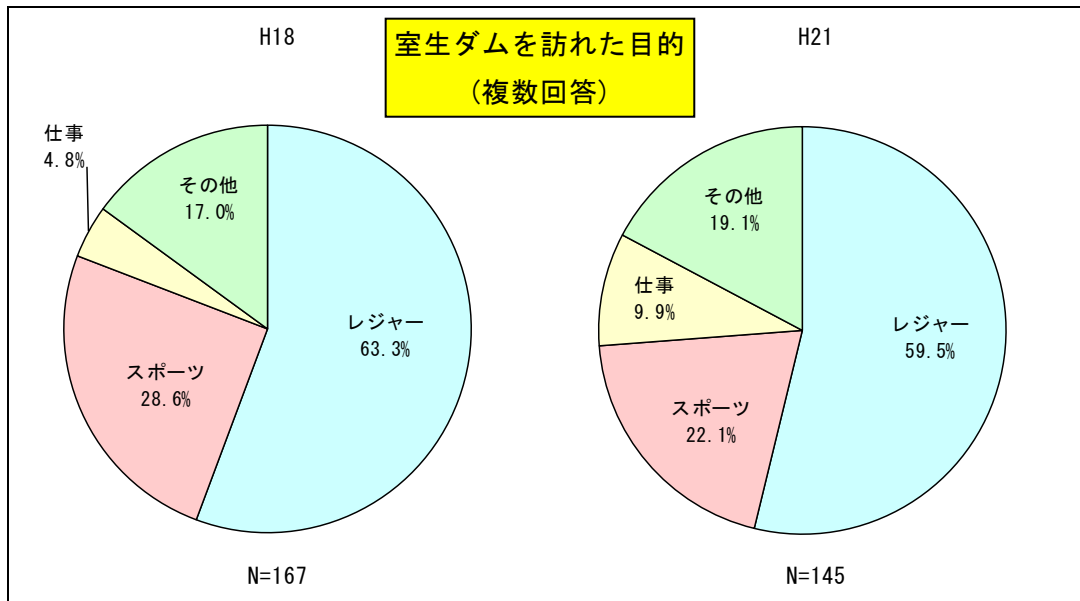


図 7.6.2-5 利用者の来訪目的

(6) 利用者の感想

室生ダムを利用した人の感想は、「満足している」、「まあ満足している」が全体の約8割を占めている。(図 7.6.2-6 参照)

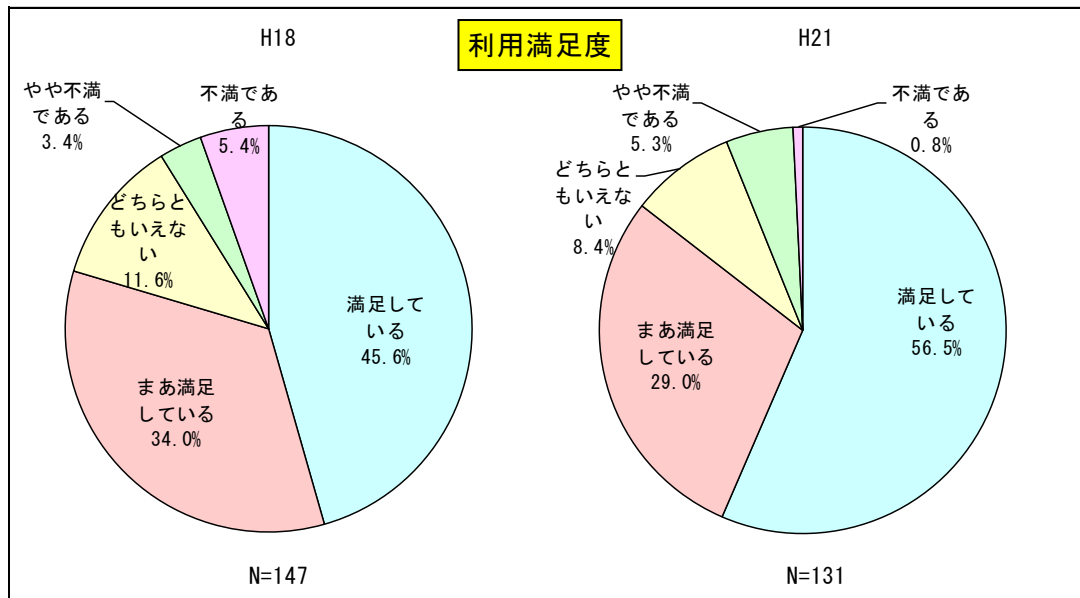


図 7.6.2-6 利用者の感想

7.6.3 ダム湖利用の評価

室生ダム及びダム貯水池周辺には、観光名所の室生寺や大野寺等の史跡があり、また室生赤目青山国定公園、東海自然歩道に指定されているなど風光明媚な地域であり、散策、ハイキング、サイクリング等、多数の観光客が訪れている。

奈良や大阪からの道路・鉄道の便がよく、幅広い年代でレクリエーションを中心とした利用が行われている。来訪者の約75%がリピーターであることも、室生ダムの特徴であると考えられる。

利用者の満足度は高いものの、ゴミや伸びた草が多いこと、案内表示が少ない等、不満を感じている利用者もある。

ダム管理者である水資源機構は、ダム湖周辺利用をさらに促進するため、利用施設の管理を適切に実施するとともに、パトロール等による利用者の安全確保、ゴミの不法投棄等の行為の抑制等に努める必要がある。

7.7 まとめ

室生ダムは、昭和49年に管理を開始し、平成25年度で管理開始39年を迎え、施設見学やイベント等を通じて、ダムの認知度や施設利用頻度も高まっていると考えられ、前項までの内容や国勢調査結果を踏まえ、以下のように評価する。

- 室生ダム流域市町村の人口は、平成7年をピークに減少傾向にあり、世帯数は平成17年まで増加または横ばいであったが、平成22年は減少している。
- 室生ダム周辺には、観光名所の室生寺や大野寺等の史跡があり、また室生赤目青山国定公園、東海自然歩道に指定されているなど風光明媚な地域であり、散策、ハイキング、サイクリング等、多数の観光客が訪れている。
- 室生ダム管理所では、地元小学校や地域住民及び関係機関等に対して見学の受け入れを積極的に行っており、小学生や一般者のダム及び環境の学習の場としても確実に定着している。
- ダム湖利用実態調査から年間利用者数を推計すると、平成12年以降は年間約15万人となっており、幅広い年代でレクリエーションを中心とした利用が行われている。平成21年度の年間利用者数では、青蓮寺ダム約6万人、比奈知ダム約5万人であり、室生ダム約18万人の年間利用者数は近隣ダムよりも多い。

水源地域の人口等の概要、観光施設等の水源地域動態を引き続き把握していくとともに、周辺の観光施設との連携等、ダム周辺地域のポテンシャルを有効に活用し、今後も地域と連携した活動を積極的に実施していく必要がある。

7.8 必要資料(参考資料)の収集・整理

室生ダムの水源地域動態に係わる評価のため、以下の資料を収集整理した。

表 7.8-1 「7. 水源地域動態」に使用した文献・資料リスト

No	文献・資料名	発行者	発行年月	備考
7-1	奈良県統計年鑑	奈良県		
7-2	国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ(平成21年度 土地利用100mメッシュデータ)	国土交通省国土政策局	平成21年度	
7-3	宇陀市観光協会ホームページ http://www.city.uda.nara.jp/sin-kan-kou/	宇陀市		
7-4	宇陀市菟田野区ガイド http://www2.mahoroba.ne.jp/~sanshin/guide/guide.htm	(財)宇陀市菟田野毛皮革産業振興公社		
7-5	宇陀市ホームページ http://www.city.uda.nara.jp/index.html	宇陀市		
7-6	近畿道の駅ホームページ http://www.kkr.mlit.go.jp/road/michi_no_eki/index.html	近畿地方整備局		

表 7.8-2 「7. 水源地域動態」に使用したデータ

No	データ名	データ提供者 または出典	発行年月	備考
7-7	河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)	木津川ダム総合管理所	平成18年度 平成21年度	
7-8	ダム見学者数	木津川ダム総合管理所	平成21年 ～平成25年	

7.	水源地域動態.....	7-1
7.1	評価の進め方.....	7-1
7.1.1	評価方針.....	7-1
7.1.2	評価手順.....	7-1
7.2	水源地域の概況.....	7-3
7.2.1	水源地域の概要.....	7-3
7.2.2	ダムの立地特性.....	7-12
7.3	ダム事業と地域社会情勢の変遷.....	7-18
7.4	ダムと地域の関わり.....	7-19
7.4.1	地域におけるダムの位置づけに関する整理.....	7-19
7.4.2	室生ダム水源地域ビジョン.....	7-21
7.4.3	地域とダム管理者との関わりの評価.....	7-27
7.5	ダム周辺の施設状況.....	7-28
7.5.1	ダム周辺観光施設等の状況.....	7-28
7.5.2	ダム周辺のイベント等の開催状況.....	7-29
7.5.3	ダム周辺利用の評価.....	7-33
7.6	河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査編)の結果.....	7-34
7.6.1	ダム湖利用実態の調査.....	7-34
7.6.2	室生ダム利用者の特性.....	7-37
7.6.3	ダム湖利用の評価.....	7-40
7.7	まとめ.....	7-41
7.8	必要資料(参考資料)の収集・整理.....	7-42